

【西予市復興まちづくり計画】

復興のパズル みんなでつくる 未来のカタチ

のむら復興まちづくり計画

【参考資料】 のむら復興まちづくりデザインワークショップの結果

令和2年3月

のむら復興まちづくりデザインワークショップ

目次

| | |
|--|----|
| 1. のむら復興まちづくりデザインワークショップの開催経緯..... | 1 |
| 2. のむら復興まちづくりデザインワークショップの結果..... | 2 |
| 第1回 野村での思い出 / これからの野村での過ごし方..... | 2 |
| 第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと | 7 |
| 第3回 肱川とその周辺の整備・活用..... | 27 |
| 第4回 肱川と川沿いの空間整備・利用案/商店街の活性化と野村の文化継承..... | 32 |
| 第5回 肱川と川沿いの空間整備・利用案/日常生活サービスの維持・更新..... | 42 |

1. のむら復興まちづくりデザインワークショップの開催経緯

| | 開催日 | 主なテーマ | 出席者 | 開催状況 |
|-----------|-------------------|--|-----|---|
| 第1回 WS | 令和元年 5月24日(金) | <ul style="list-style-type: none"> ○開催主旨 ○野村高校の生徒が想う復興まちづくり提案の発表 ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・野村での思い出、残したいもの ・野村での過ごし方 ○グループワークの発表 | 23名 |   |
| 第2回 WS | 令和元年 6月24日(月) | <ul style="list-style-type: none"> ○第1回の振り返り ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> テーマ①: 肱川(宇和川)とその周辺の整備・活用 テーマ②: 商店街の活性化 テーマ③: 野村の文化の継承と観光 テーマ④: 日常生活サービスの維持・更新 ○グループワークの発表 | 30名 |   |
| 第3回 WS | 令和元年 7月23日(火) | <ul style="list-style-type: none"> ○第1回及び第2回の振り返り ○事例紹介 ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> テーマ 肱川(宇和川)とその周辺の整備・活用 ○グループワークの発表 ○ポイントシールの貼り付け | 21名 |   |
| 第4回 WS | 令和元年 8月22日(木) | <ul style="list-style-type: none"> ○第3回の振り返り ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> テーマ①: 肱川(宇和川)と川沿いの空間整備・利用案 テーマ②: 商店街の活性化と野村の文化継承 ○グループワークの発表 | 29名 |   |
| 第5回 WS | 令和元年 9月25日(水) | <ul style="list-style-type: none"> ○第4回の振り返り ○災害時の避難について(平成30年7月豪雨災害時の避難の状況) ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> テーマ①: 肱川(宇和川)と川沿いの空間整備・利用案 テーマ②: 日常生活サービスの維持・更新 ○グループワークの発表 | 24名 |   |
| 第6回 WS | 令和元年 10月24日(金) | <ul style="list-style-type: none"> ○第5回の振り返り ○のむら復興まちづくり計画について ○グループワーク <ul style="list-style-type: none"> テーマ①: のむら復興まちづくり計画の修正・追加 テーマ②: 各主体が行うこと・行いたいこと ○グループワークの発表 | 21名 |   |

2. のむら復興まちづくりデザインワークショップの結果

■第1回 野村での思い出 / これからの野村での過ごし方

【1班】

【場所・地名等】
・野村での思い出。
→これからの野村でしたいこと。

【愛宕山】

・中学生の時に初めてのデートで訪れた。
・小学生の時、アスレチックで楽しんだ。
→道の整備が追いついていない。来訪者のためにも整備が必要。

【乙亥会館】

・乙亥会館で相撲大会に参加した。

【愛媛銀行】

・人生初のATMを経験。親戚のおばに使い方を教えてもらった。

【運動公園】

・運動公園でサッカー。
・夜はソフトリーグに参加していた。

【商店街】

・昔は飲み屋も多かった。
→商店街の空き店舗を利用して賑わいを創出する。

【Aコープ】

・野村高校の同級会をした。

【フジマート】

・子どもの頃、母や祖母とフジマートに買い物に行くことが嬉しかった。昔は大きな店だったというイメージがある。

【体育館】

・川東球技大会の男子レクバレー会場で利用。
・土曜に子どもを連れて運動していた。
・友達と話し、笑いあひながら運動。
・秋祭りの牛鬼の練習。

【野村小学校】

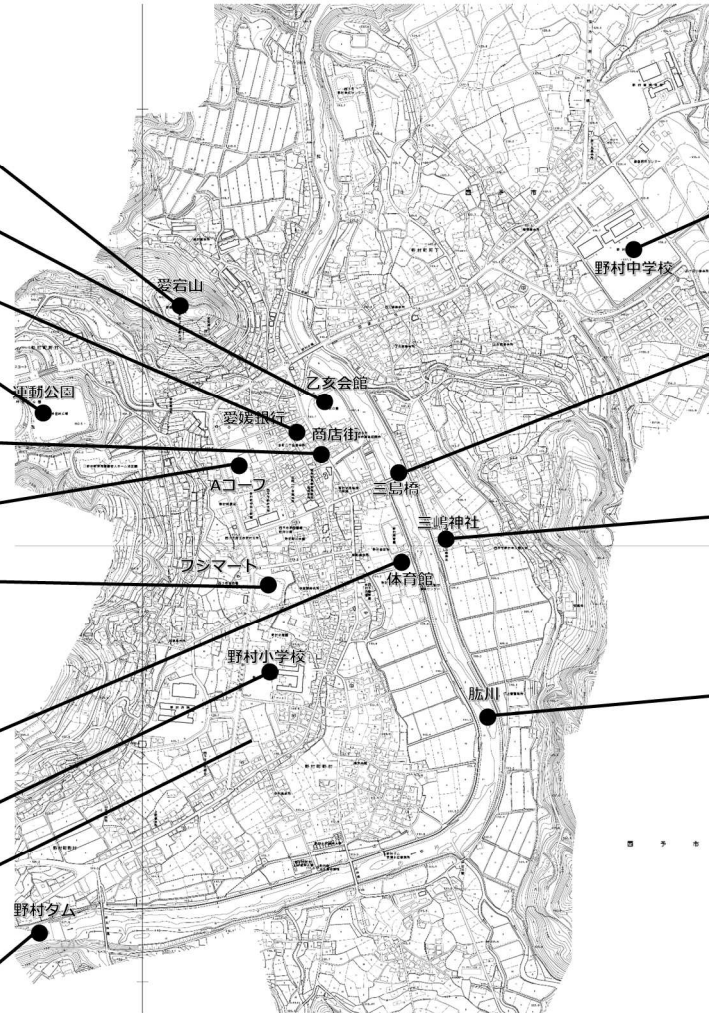
・野村地区のミニバレー大会を開催（平成元年から）。

【ジョイフル】

・昔あったジョイフルでの飲み会が楽しい思い出。

【野村ダム】

・鯉釣り、バス、ナマス、ウナギなど。
・野村ダムの火花を見た（遠くからも見えた）。



【自然】

・ザリガニ取り（昔の池で）。
・カブトムシとり。
・ホテル観賞。
・竹・林などを使って遊んだ。
・各家の牛飼いさんが野村の風景となっている。
→商業施設などはないから、野村の自然を生かして観光客の誘致をする。(例)はたるを見に行く。クワガタ、カブトムシ採り、など

【野村中学校】

・芝生でサッカーができる。

【三島橋】

・1970年頃小学生の時、川で水泳をして遊んでいた。
・貸しボート（50年程前）があった。

【三嶋神社】

・親戚の結婚式があった。
・1976年の高校生の時、初デートした場所。

【脇川】

・脇川のあちこちで魚釣りをしていた。
・中学生で初めて夜釣りをした。
・1975年頃中学生の時、川で泳いで遊んでいた。
・昔は魚をとって遊んでいた。
→深さ、広さがある川に整備してほしい。
→川の深さが深いところばかりなので、子供たち川に入って遊べるような浅いスペースが欲しい。

【野村町全体】

・地域への愛着は高い。
・人と人のつながりが強い。
・この川やあの道など特定の場所やモノに不満が少ない。
→宿泊施設を整備してほしい。
→宿泊施設が少ない。またそれは、観光客が野村に来ても結局は近辺の街に宿泊するため他の街にお金がおちる。宿泊施設を作ることは野村でお金を落としてもらうことにつながる。
→野村の外にモノやコトを発信できる仕組みづくり（インフラ・交通）。
→交通便が悪く、町に人が来にくい。また観光客だけでなく、店を営む人にとっても物流の費用がかさみ、交通のアクセシビリティが低いと物賣が届かない。新たに店を出しにくい。
→嗜好品・服の店舗数、パリエーションが少ない（デートする場所も少ない）。にぎわいを増やしたい。
→起業・雇用を支える仕組み・場所が必要。
→住民としては野村に住んでいて何一つ

■第1回 野村での思い出 / これからの野村での過ごし方

【2班】

【場所・地名等】

・野村での思い出。

→これからの野村でしたいこと。

【愛宕山】

- ・小さい時に親や友達と一緒に遊んだ。
- ・愛宕山にアスレチックフィールドがあって楽しかった。
- ・子どもを連れて遊びに行った。
- ・花見をした。

【乙亥会館】

- ・レクハレー大会等をした。
- ・乙亥会館で国体のときに相撲を見た。
- ・乙亥会館へは大相撲力士も来て、見ました。小学生の学校対抗戦の応援で横綱を間近で見ました。
- ・乙亥祭り。

→乙亥会館の相撲を復活させたい。

【カント温泉】

- ・小さいころよく家族と温泉に行った。
- ・カント温泉に孫と行った。

→温泉にまた入りたい。

→温泉は無理でも銭湯で良いから欲しい。

【野村公民館】

- ・野村公民館は全ての私たちの活動の拠点です。皆さんが楽しく無料で集います。
- ・昔の児童館の下で魚を釣った。

【中心地】

- ・昔はにぎやかだった。
- 中心地に子どもが安全に遊べる場を作って欲しい。
- 子どもが安心して住めるように地域食堂や子ども食堂。
- 若い人が安心して住めるように子育て応援をしっかりとしてほしい。
- 高齢者が安心して住めるように施設の充実。
- 中心地の空き地に高齢者の方が住みやすいまちにしたい。

【野村病院】

- ・骨折をして救急車で運ばれた。
- これからも野村病院で色々な診療を受けられたらうれしい。

【野村小学校】

- ・テスト期間中によく友達と一緒に勉強をしていた。
- ・小学校や中学校で、にぎやかに元気に思う存分、好きなことをしました。統合で通っていた学校は無くなってしまったけれど。

【朝霧湖】

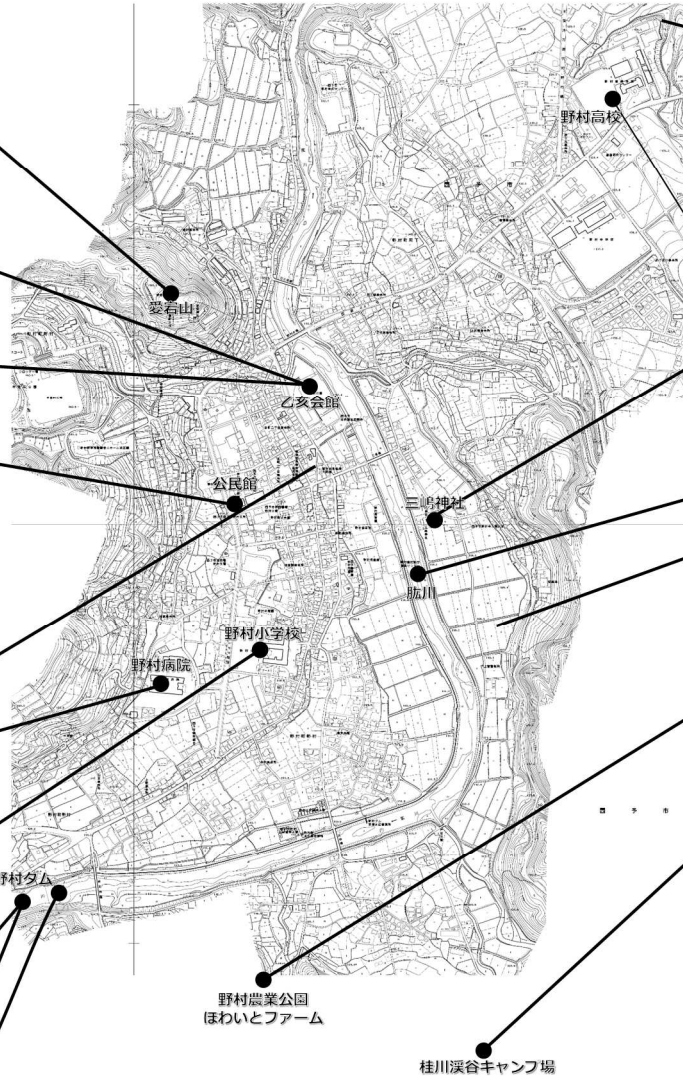
- ・朝霧湖マラソンに多くの人が参加。
- ・朝霧湖マラソンのボランティアを部活でした。
- 朝霧湖マラソンの応援休憩、協力休憩づくりを残したい。

【野村ダム】

- ・納涼花火大会でビアガーデンのイベントをした。

【藍川】

- ・堰の下で大きな鯉を釣った。



【自然】

- ・桑の実を食べた思い出。
- ・牛くさかったような気がする。

【野村高校】

- ・高校のときは下宿していました。お風呂が中々入れませんでした。今から考えるとソツとします。
- ・高校では勉強ばかりでした。でもみんなで共に学んだ場での思い出です。その頃は小動物とのふれあい体験はしていませんでした。
- 高校生の考えの素晴らしいところを応援したい。高校生の皆さんの声、発信してほしい。
- 小学校や幼稚園や保育所に動物と触れ合ったり、牛乳を飲んでもらったりする場をアピールしてほしい。見守ることができそうです。
- 野村高校にもっと人が来てほしい。

【三嶋神社】

- ・三嶋神社でカウントダウンに参加。
- ・乙亥太鼓を叩いた。
- ・孫の七五三のお参りに行った。
- ・秋はいちようがきれいだった。

【藍川】

- ・駅伝の練習で川沿いを走った。
- ・川でアユを釣った。
- ・藍川沿いを散歩します。景色を見て、さぎや鴨、鯉がいて、五七五を作る場所です。
- ・川で泳いだ。
- ・おかいごさんを餌にして魚を釣った。

【田園】

- ・母方の田んぼ 稲刈りをしてかまどで炊いて食べた。

【野村農業公園ほわいとファーム】

- ・野村の自然が好きです。大野ヶ原、惣川（土居家）、野村の桂川溪谷、心がなごみました。今は、家族といっしょにホワイトファームでうさぎややぎと触れ合うのが楽しいです。

【桂川溪谷、キャンプ場】

- ・愛読書の活動で桂川で飯ごう炊飯をした。たくさんの方が参加した。
- ・わんぱくランドで草スキーを子どもとした。
- ・桂川溪谷を歩いた。もう一度、滝のしぶきを感じたい。
- ・満足で桂川溪谷に行って友だちと遊んだ。

【野村町全体】

- ・野村の地域のみなさんといろいろな活動をするのが楽しみです。ボランティアをしたり、体操をしたり、趣味の活動をしたり、人とふれあいができる場所です。
- 民俗文化を広げる。
- ビニターセンターやゲストハウスが欲しい。
- 野村の地域の味（おといちゃんこ・おといずしなど）、自然の味を残したい。
- 野村の人の心意気、協力、工夫、人のつながり、気持ちを受け継いで。ずっと。
- 今後、県外に出て野村の良さをみんなに伝えていきたい。
- 観光農園がほしい。

■第1回 野村での思い出 / これからの野村での過ごし方

【3班】

【場所・地名等】
・野村での思い出。
→これからの野村でしたいこと。

【愛宕山】

・孫たちと一緒に行き公園で遊んだ。花見を行った。夜にはバーベキューをした。
・愛宕公園でよく遊んだ。
・小学生のとき遠足で行った。遊具で遊んだ。
→愛宕山展望台が木が繁茂してよく見えない。見えるようにしてほしい。(昔は一番上まで登れていたけど、今はNTTTの電波塔があって無理)
→中心部を見渡せる展望台と休憩所がほしい。

【運動公園】

・運動公園で部活をした。
→部活の試合(大会)ができるグラウンドができてほしい。(今は高校で他の部活の活動がない日している)

【乙亥会館】

・相撲の時期に開催される乙亥祭りの出店を友だちと楽しんだ。
・乙亥会館下の河口温泉によく入りに行った。
・乙亥会館は野村のシンボル。
・昔は相撲をする決まった場所がなかった。乙亥会館は住民の憩いの相撲場所。
・音病院だったところに乙亥会館ができた
→乙亥会館での「乙亥相撲」を早く復活させてほしい。
→乙亥会館を直してまた乙亥相撲をしてほしい。
→老人がゆっくり憩える場がほしい(乙亥会館内)
→温泉施設を復活させてほしい

【Aコープ】

・昔、2つの大企業の工場の高い煙突があった。(現在のAコープ、乙亥会館の近く)

【商店街、まちなか】

・商店街で部活の後、友だちと昼ご飯を食べた。
・映画館が町に3つあった
・松岡商店…なんでも売っていた
→今は意外に中心部にゆっくりできるスペースがないので、街中に子どもや老人がゆっくりできる場所がほしい。公園的な施設でベンチや緑がある空間。
→中心部付近に公園があれば良い。

【体育館】

・体育館では婦人会の運動会をしていました(年に1回)。
→手軽に利用できる体育館でレクプレー等をしたい(乙亥会館とは別の施設も必要)。

【野村病院】

・昔はため池だった場所がボウリング場に、ボウリング場から野村病院になった。

【ゆめちゃんこ】

・ゆめちゃんこが昔は保育所だった。

【野村ダム】

・ダムのこいのぼりを見た思い出。
・こどもの日にダム祭りがあった。
・孫の名前が書かれてあるこいのぼりを見た。
→花火祭りをまたしてほしい。(ダムができる前は中心部でしていた)

【自然】

・山の中で陣取り合戦をして遊んだ。

【三島橋】

・三島橋下で泳いだ

【三嶋神社】

・初詣、輪投げに行った。
・姉の結婚式を行ったところ。

【老人憩いの家】

・老人憩いの家で会合を行っていた。

【脇川】

・子どものころ、よく川遊びをしていた。(魚釣り、ボート、水泳)
・脇川での魚とり(ハヤピン)をしていた。
・孫たちと一緒に児童館の下の川で「黏つかみ」をして、その魚をそのまま網で焼いて食べた。脇川漁協の行事だった。
・川で魚釣りをした
→ダム放流に対応できる堤防を作してほしい。
→野村にダムはいらないのではないかと、いざというときに溜めておくだけのほうがよい。普段から溜めておく必要があるのか、

【野村農業公園ほわいとファーム】

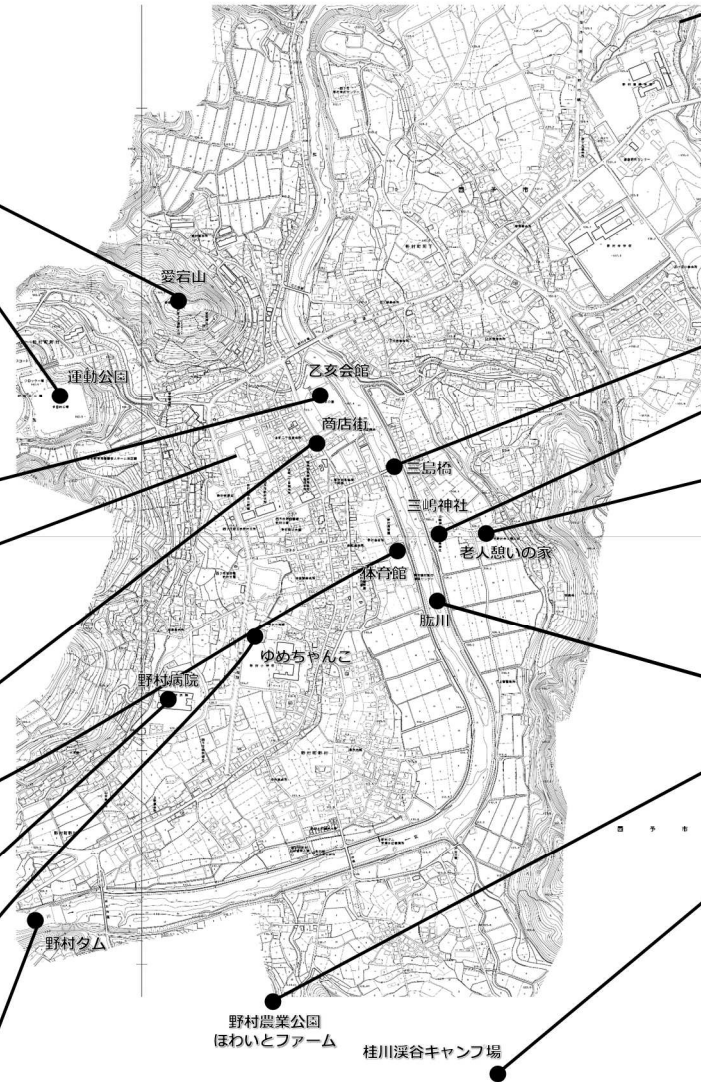
・ホワイトファームで食事などを楽しんだ。

【桂川渓谷キャンプ場】

・桂川竹谷で子どもたちとキャンプをしたこと。

【野村町全体】

・ミルクとシルクの町



■第1回 野村での思い出 / これからの野村での過ごし方

【4班】

【場所・地名等】
・野村での思い出。
→これからの野村でしたいこと。

【石久保の川】
・“つげばり”や“じんご”でうなぎとり
→釣りができるように。

【愛宕山】
・中学高校時に、愛宕山公園でサバイバルゲーム、アスレチックを楽しんだ。
・四季を感じる木 桜やもみじ（孫ができてからよく行くようになった）
→愛宕山へ行く道路整備してほしい。
→散歩道がほしい。

【運動公園】
・運動公園でひたすらサッカーの練習をした。小・中・高校時。

【乙亥会館】
・ちびっこ広場で遊んだ。
・ちびっこ広場は小学生が集まる場所
・脇川（乙亥会館の下）で魚釣りをした（小学生時）。
・乙亥相撲に出場した（小学校～中学校）。
・相撲をとった（野村に住む誰もが通る道）
・乙亥相撲に出場した。社会人になって初のまわしを体験。
→乙亥ドーム内の温泉を復活してほしい。汗を流した後に入りたい。（燃料を木にする）

【商店街、まちなか】
・商店街の夜市を友達と回った。
・おいしいチャーハンの店があった。
・駄菓子屋が昔はいろんなところにあった。芋せんべいがおいしかった。不思議とおいしかった。
→地元の人が経営する小さなお菓子屋みたいな店を増やす。
→芋せんべいの復活。地元のお土産として。
→駄菓子屋が欲しい。昔はローカルなお菓子が流行っていた。自然と子供たちが集まる。
→街中に競技場が欲しい。（運動ができる場所）街中につくることで商店街にも足がのびやすくなり人が集まるようになる。

【児童館、体育館】
・児童館の体育館で球技で遊んだり、児童館内でカードゲームをした。
・ゲーム、卓球トランプなどをみんなで
・昔は特にみんなが集まりやすい場所であり、よく集まっていた。
・体育館で子どものバドミントンをしてた。全国大会にも出場した。
→フットサル、バスケのコートで汗を流したい

【野村ダム】
・野村ダムの周辺でバス釣り、鯉釣り（夜釣り）。
・魚釣り（世代によってとれるものが異なる。昔は鯉釣り、今はブラックバス）
・友達と花火を見た。花火はとてきれいだっただ。
・友達と釣りに行った。

【自然】
・ナイフを使った山での遊び（鳥をつかまえてた）

【お祭り】
・亥の子（旧暦10月の年中行事）を地区の愛護班でついで各家庭を回った。
・亥の子で町を回る。（子どもの小遣い）
・人が大勢、集まっていた。

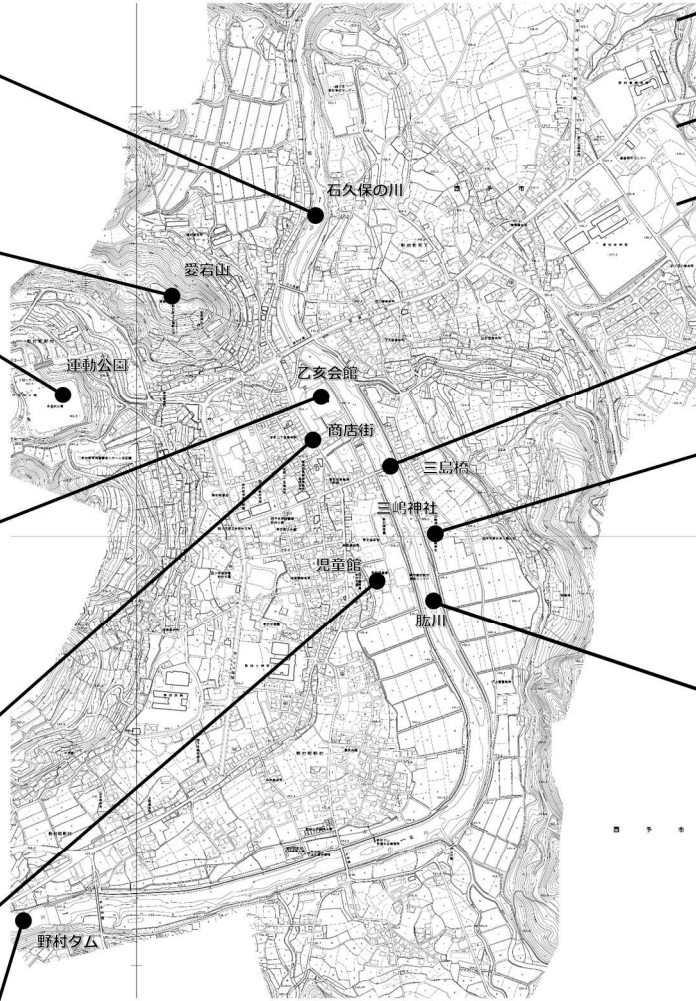
【仲間】
・中学・高校時に、友達の家を離れて部活のお別れ会をしたのが良い思い出。

【三島橋】
・橋の上から川にダイブして遊んだ。

【三嶋神社】
・秋まつりで土塵踊り。
・秋と言えは祭りが行われ、出店が出るほど。商店街まで人がたくさんいた。

【脇川】
・ダイブ、魚釣り、釣り堀（うなぎなど）
→釣りできるようにしてほしい

【野村町全体】
・宿泊施設が必要。野村を楽しんでもらい、かつお金を使ってもらおう。
→静かに読書・勉強できるスペースがあれば…。学生が自然と集まれる、特に個別スペースが欲しい。※ゆめちゃんこは子供たちの声で集中できない
→児童館のような何か遊べる場所がほしい。



■第1回 野村での思い出 / これからの野村での過ごし方

【5班】

【場所・地名等】

・野村での思い出。

→これからの野村でしたいこと。

【磐岩山】

- ・一周するアスレチックで遊んだ。
- ・冬はそり遊びをした。
- ・つい先日も行つて展望台から見る桜がドローンから見る景色に似てキレイ。

【運動公園】

- ・野球の試合をしていた(野村球場)。
- ・こけら落としの時、池田高校が来た。みんな体が大きかった。
- ・ソフトボールの大会が行われていた。
- ・ジュニアサッカーの大会があった。

【乙亥会館】

- ・乙亥相撲に出場していた。
- ・天皇関係者が来たことがある。日の丸を振つた思い出。
- ・いつも家から見える建物。昔は旧野村病院。映画「死国」のロケ地だった。
- ・団体山形チームの応援をした思い出。
- 住民の交流の場なので、乙亥会館内の温泉施設を復活させよう。

【商店街、まちなか】

- ・特徴的なお醤油屋がある。
- ・映画館が3軒あった。クレージーキャッツ、サンガ対ガイラ、ゴジラ対キングゴドラを見に行った思い出。
- ・ボウリング場があった(今の病院)。
- ・ちろりん村(飲み屋?)によく行った。
- ・賑わっていた商店街も寂れてしまった
- 半径500m(歩いて行ける距離)で何でもそろ商店街
- ごはん屋・飲み屋がいっぱいほしい
- 文具の専門店。

【フジマート】

- ・フジマート洋服家具店下でのゴジラの解体ショーは衝撃的。

【児童館】

- ・児童館のグラウンドでローラースケートの練習をしていた。
- 児童館(築50年)の周辺を、運動場、バス、スケートボードができる場所へ。

【野村小学校】

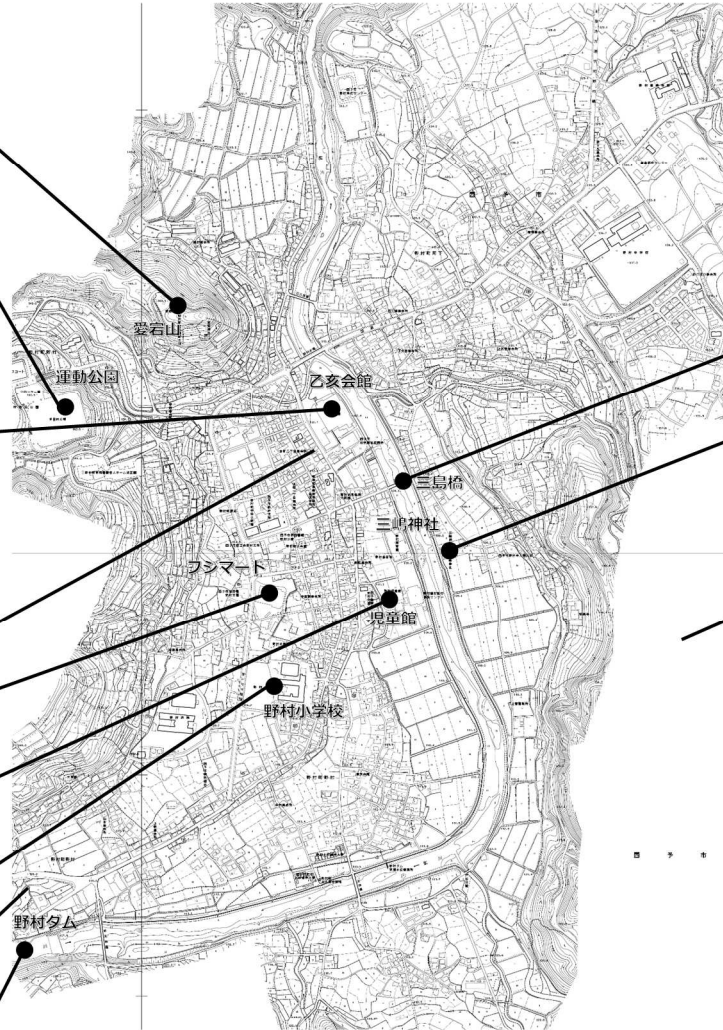
- ・野村小学校・公民館を含め、2か月と3日、避難所としてお世話になった。

【伝説】

- ・相撲道場がある。

【野村ダム】

- ・磐城県内で2番目の発電所。
- ・桜の名所となっている。



【三嶋橋】

- ・三嶋橋近くで川遊び・泳いだ。
- ・三嶋橋での舟遊び。
- ・昔は橋の上からダイブしていたが、川遊びはダム建設でできなくなった。遊泳禁止?

【三嶋神社】

- ・三嶋神社・安楽寺での奉納相撲。
- かつては賑わっていた祭りも参加者が少なくなっている。

【産業】

- ・養蚕業のまちとして栄えていた。
- ・養蚕が生業の一つで、蚕糸連があった。
- ・野村高校に畜産科があるように、乳業会社もあった。

【野村町全体】

- 空き地を公園化する。
- 宿泊施設がほしい。娯楽施設と宿泊施設はセットが良い。
- 夜が暗くなった。防犯灯の減少など。
- 住む場所・学校・買い物・職場が集まったビル。
- 転出者が多い現状。国道が開通し、交通の便が良くなったことが拍車をかけた。

■第2回 4つのテーマに基づき、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

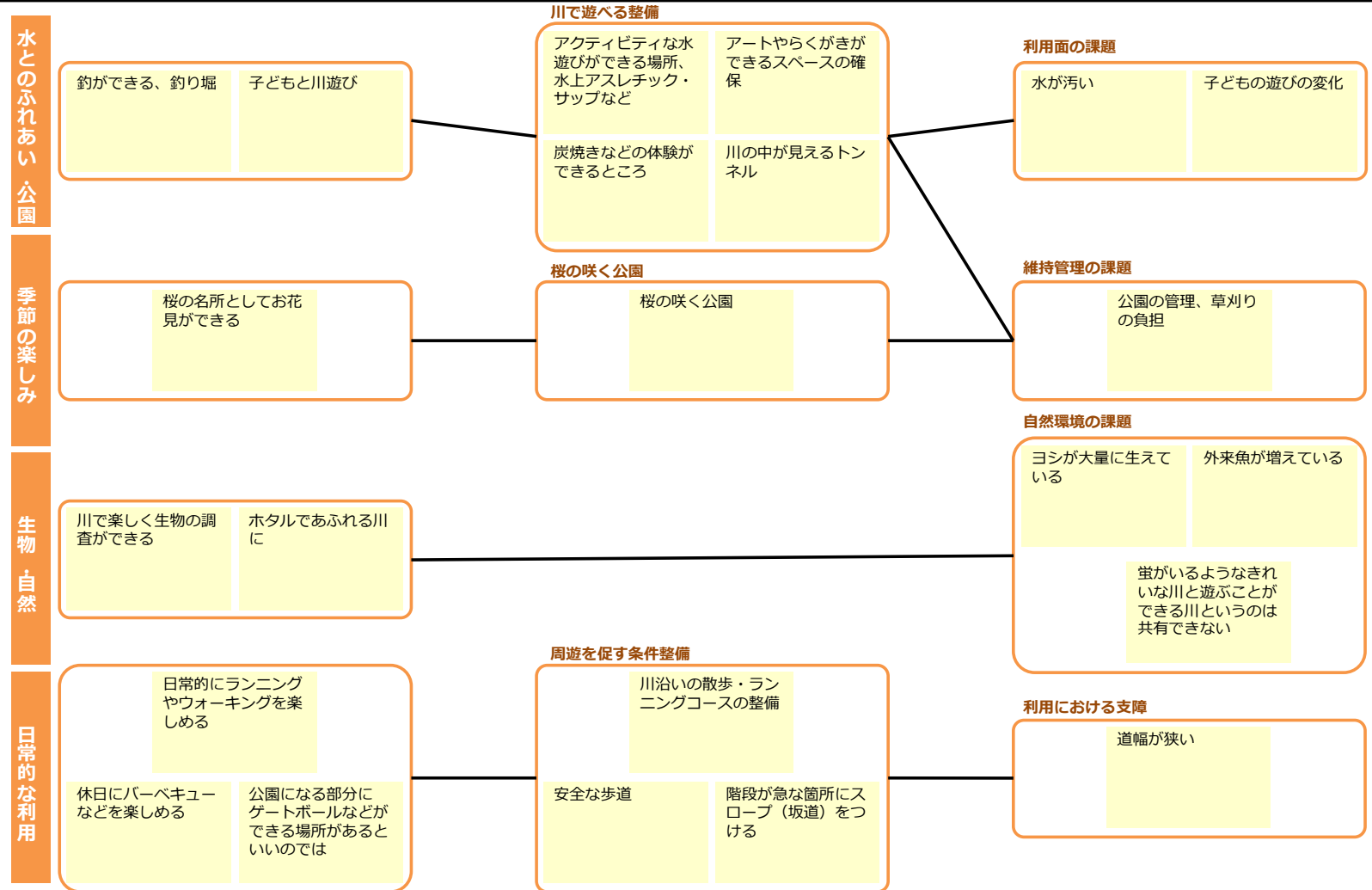
肱川とその周辺の整備・活用

1班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・
課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

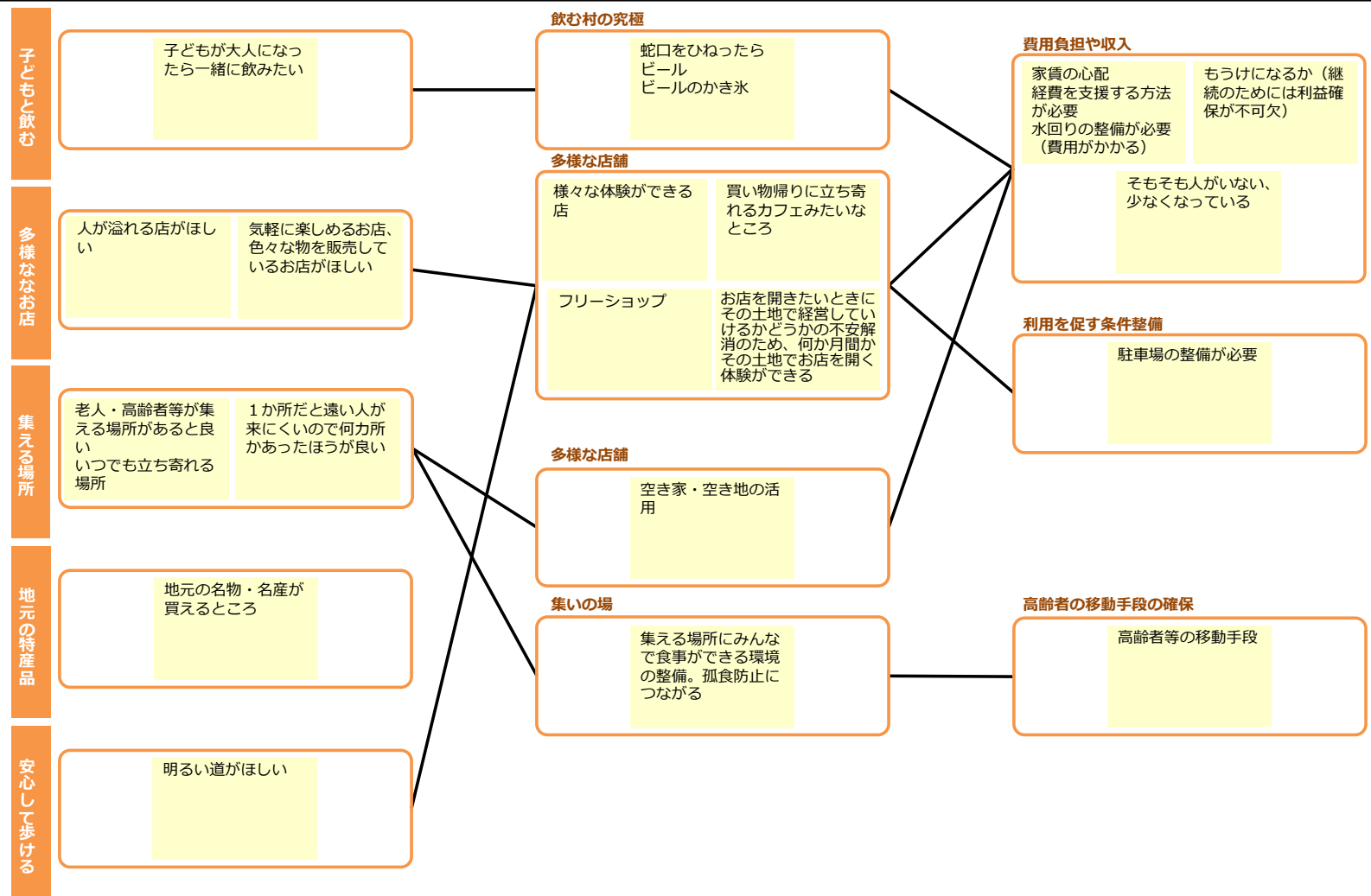
商店街の活性化

1班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

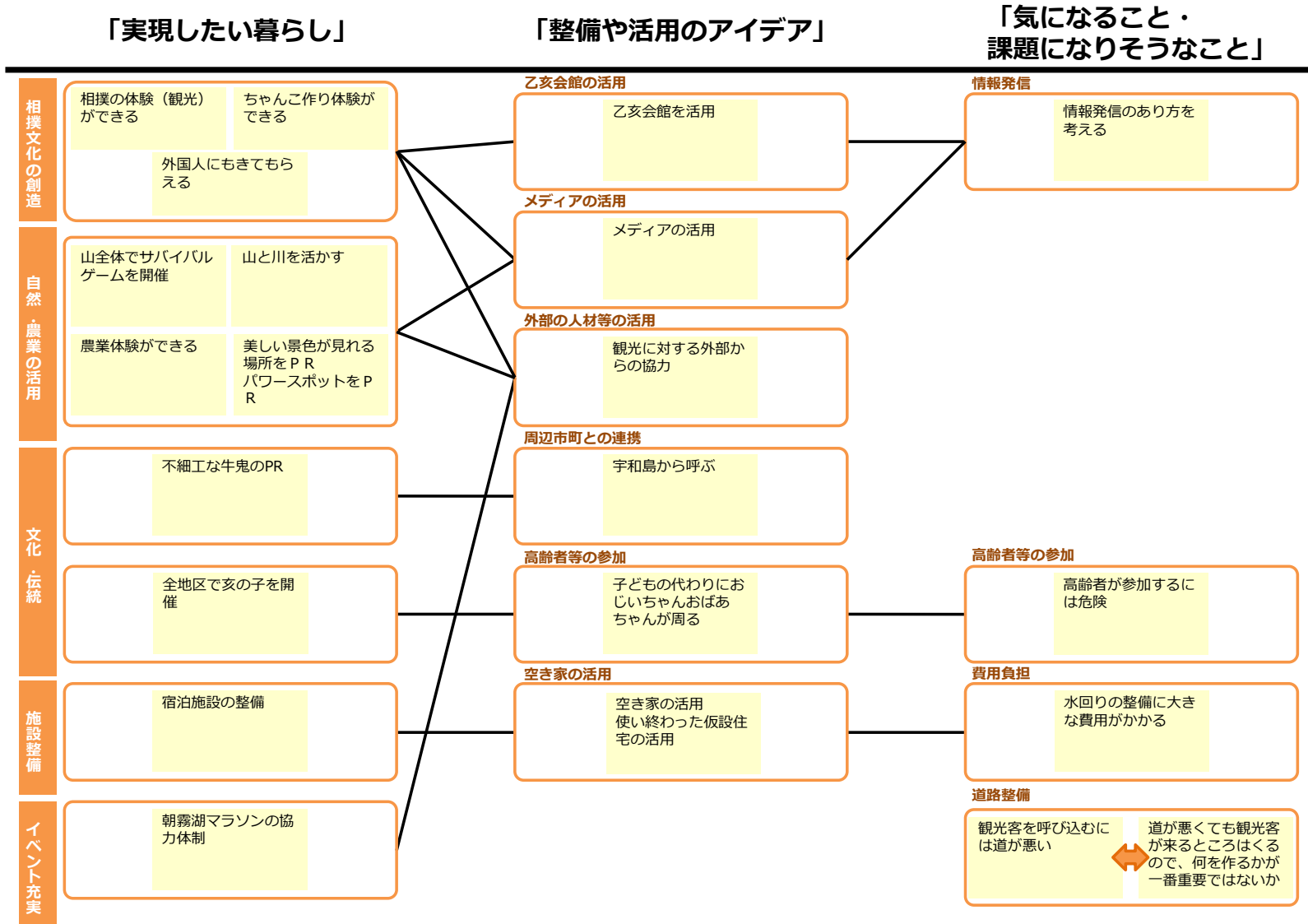
「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

野村の文化の継承と観光

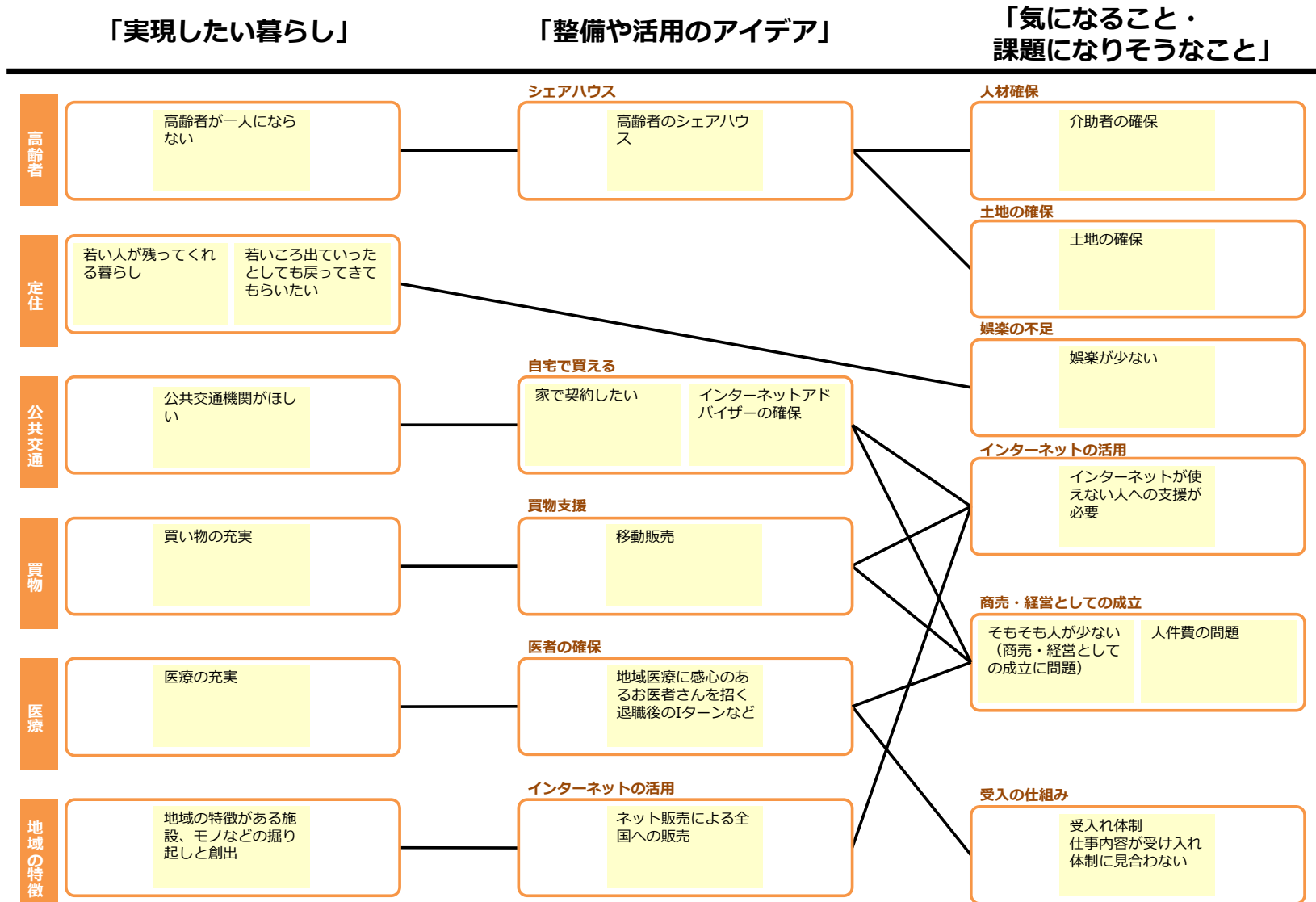
1班



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

日常生活サービスの維持・更新

1班



■第2回 4つのテーマに基づき、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

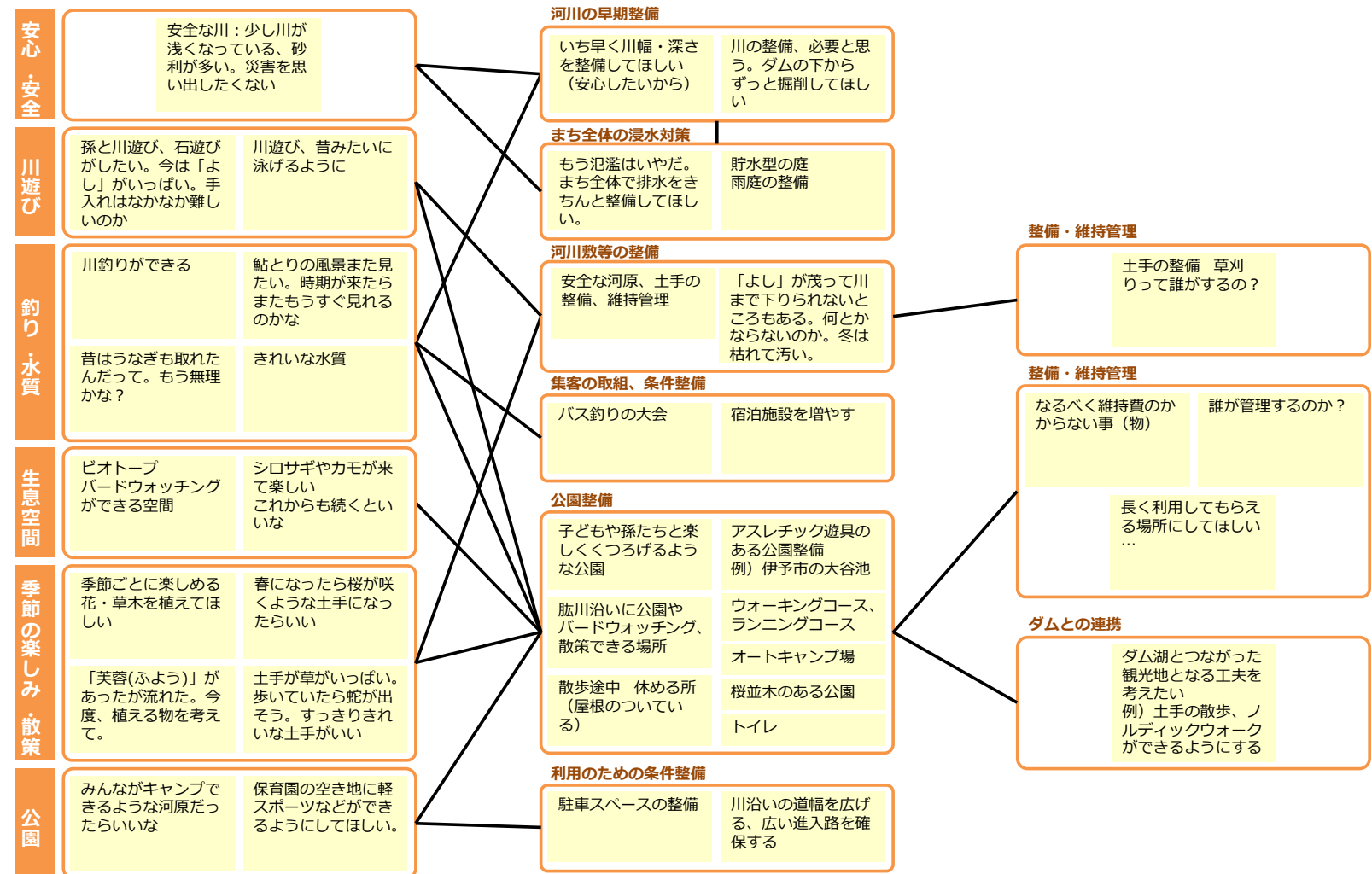
肱川とその周辺の整備・活用

2班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づき、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

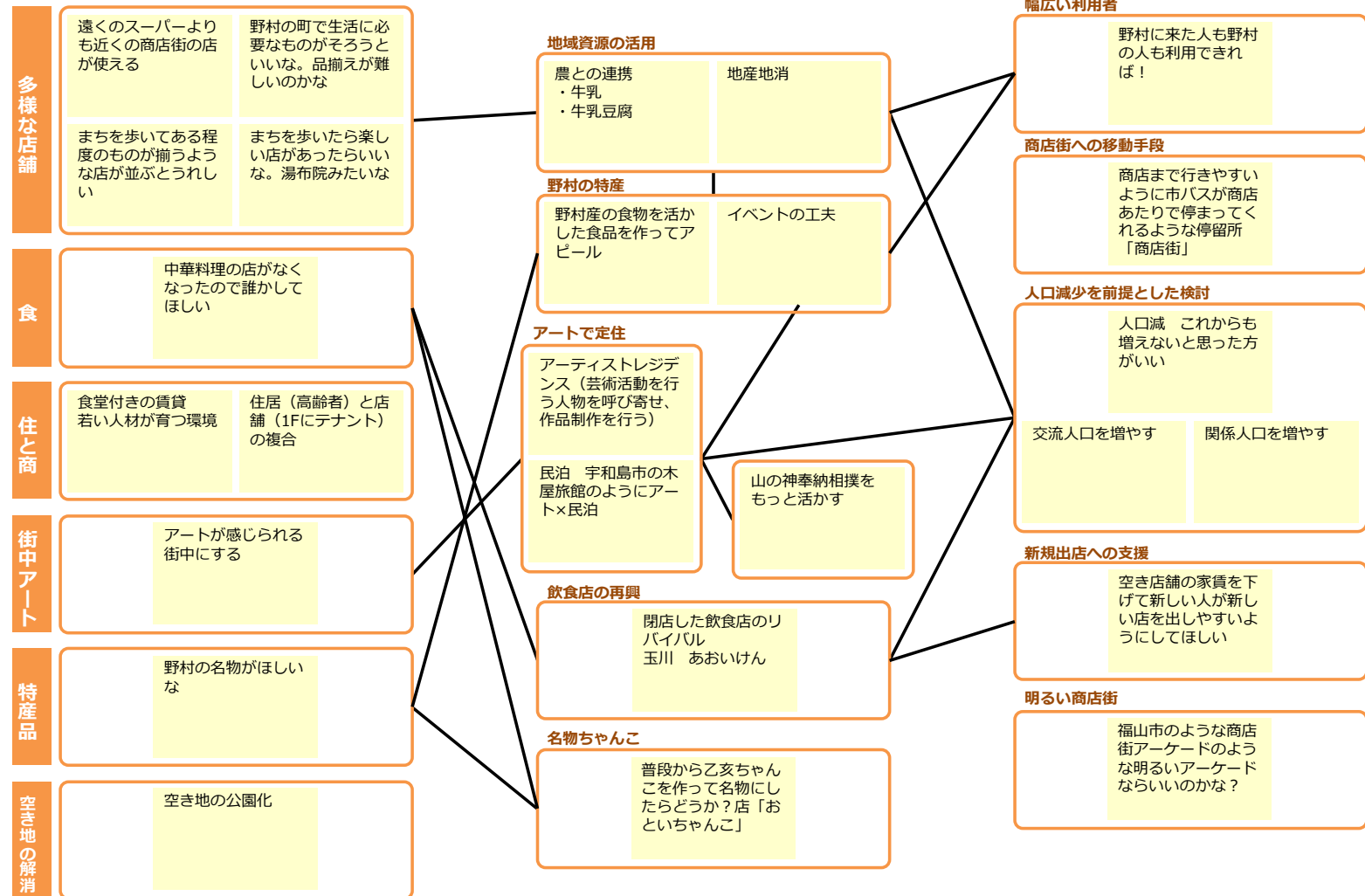
商店街の活性化

2班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づき、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

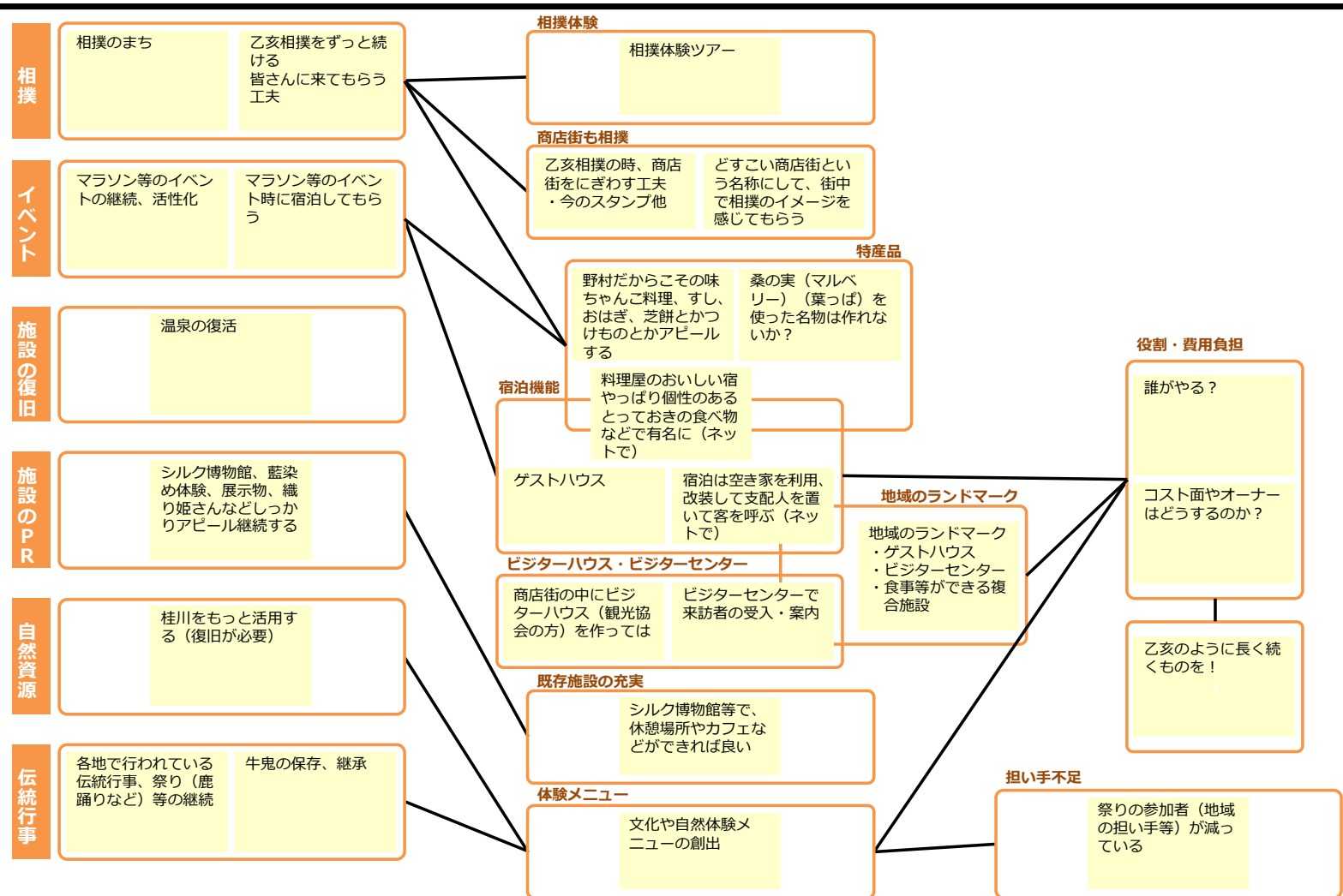
野村の文化の継承と観光

2班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づき、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

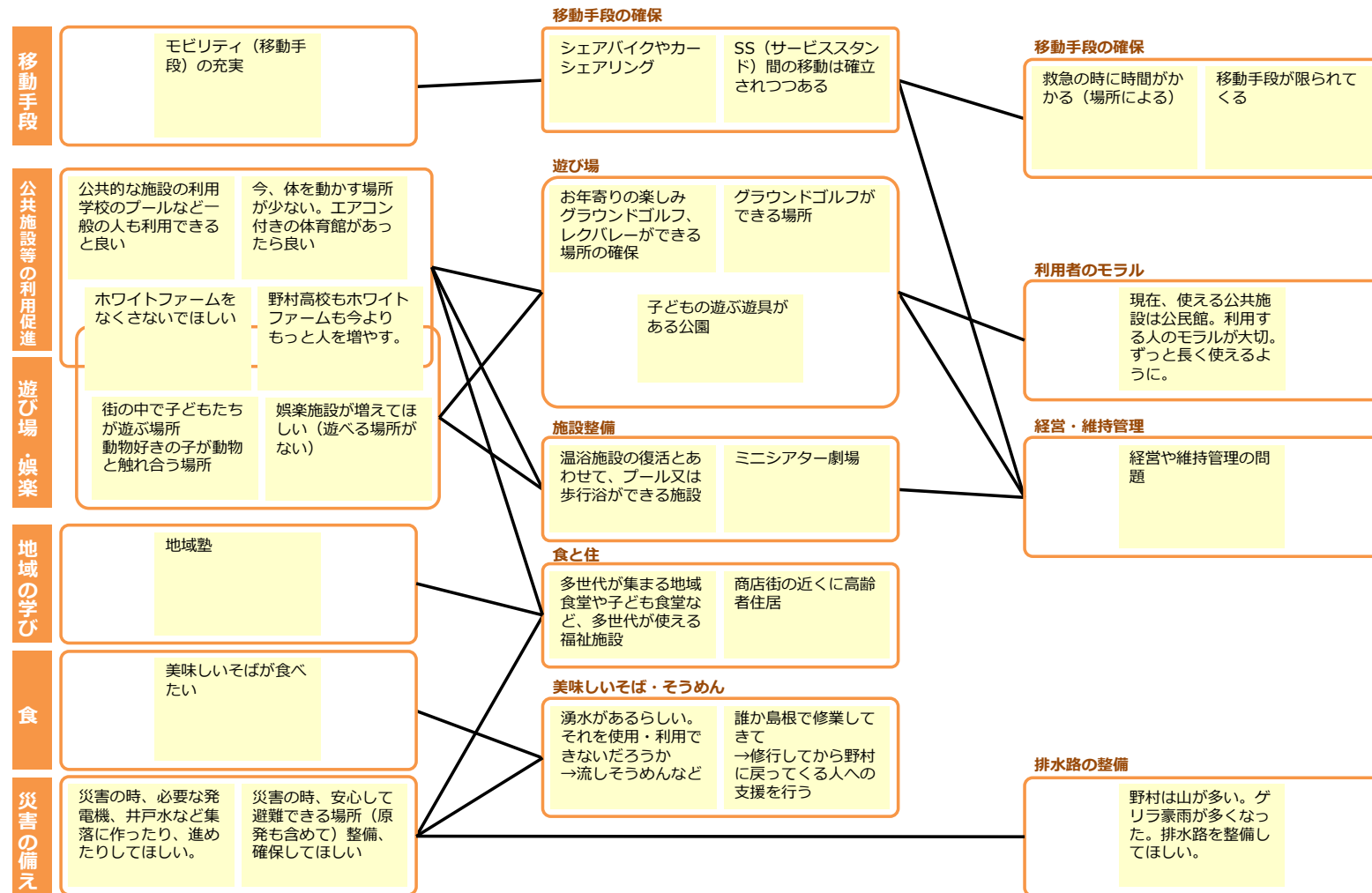
日常生活サービスの維持・更新

2班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

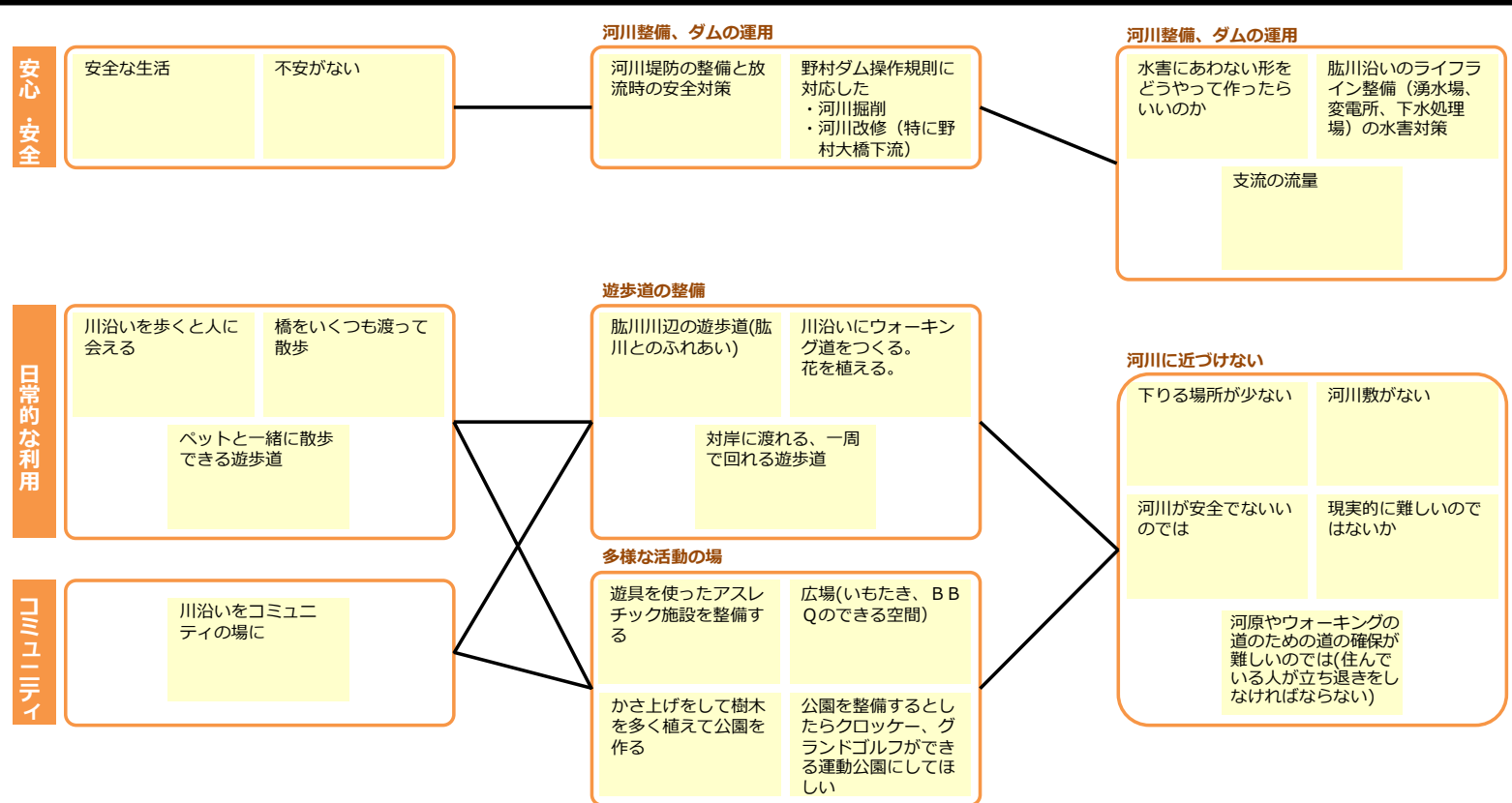
肱川とその周辺の整備・活用

3班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づき、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

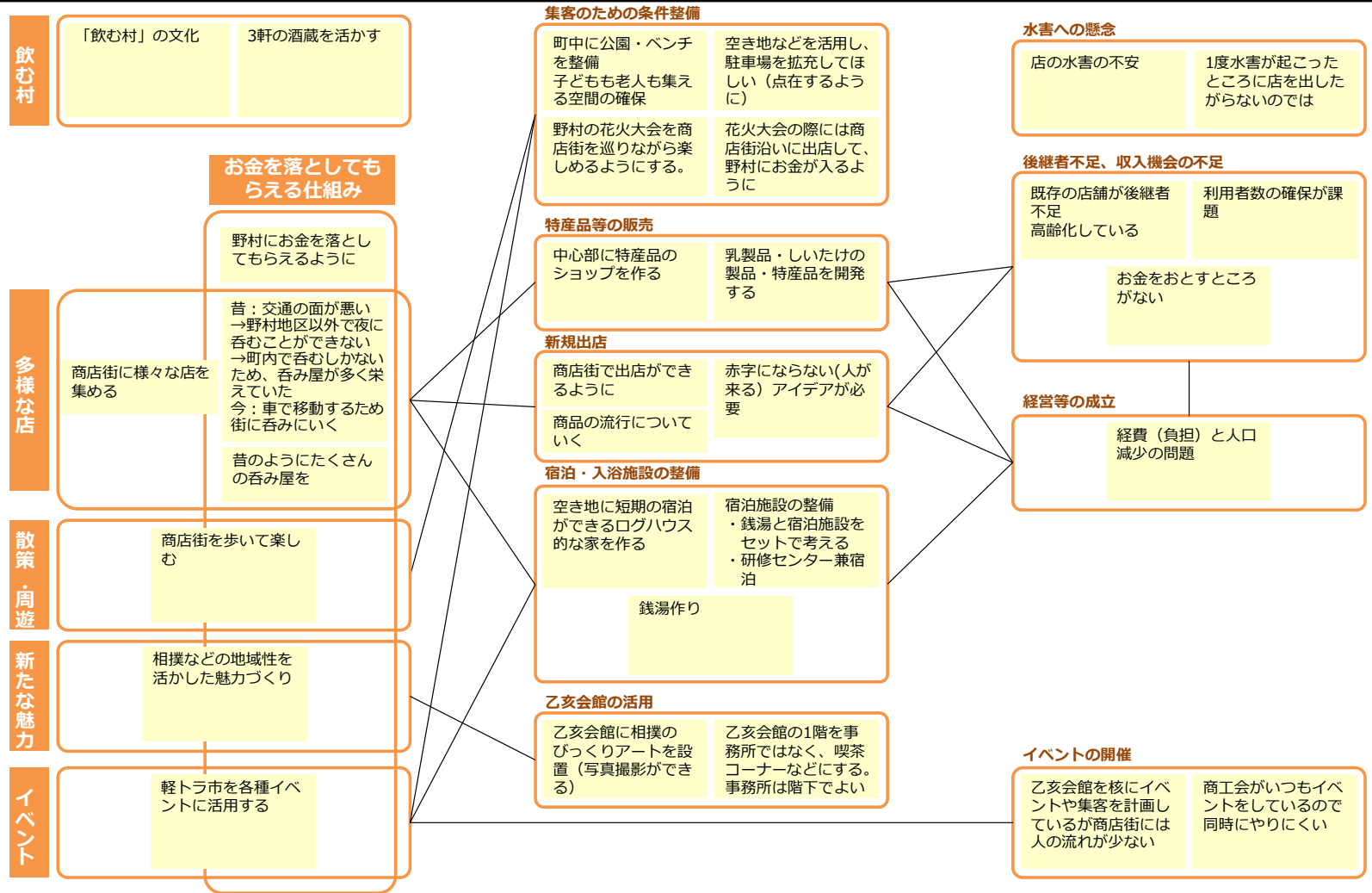
商店街の活性化

3班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づき、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

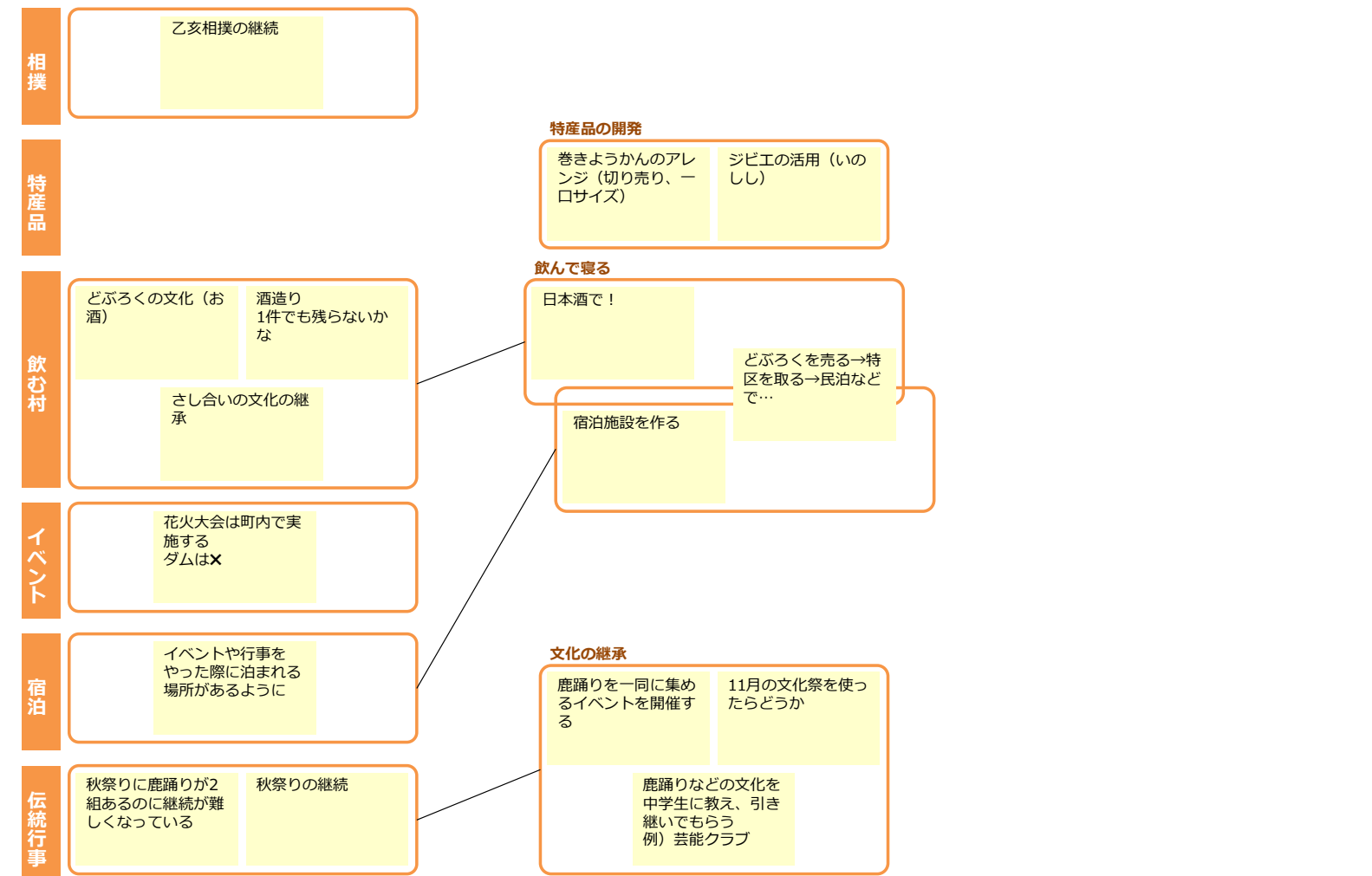
野村の文化の継承と観光

3班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・
課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

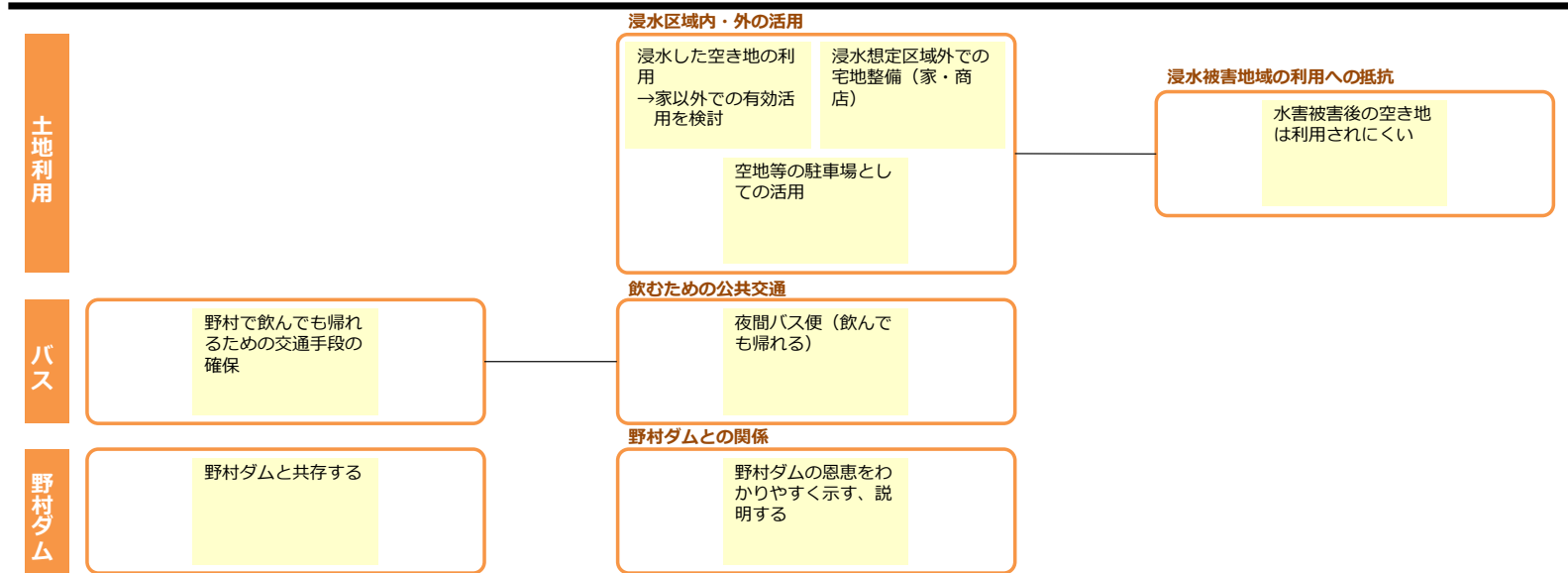
日常生活サービスの維持・更新

3班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

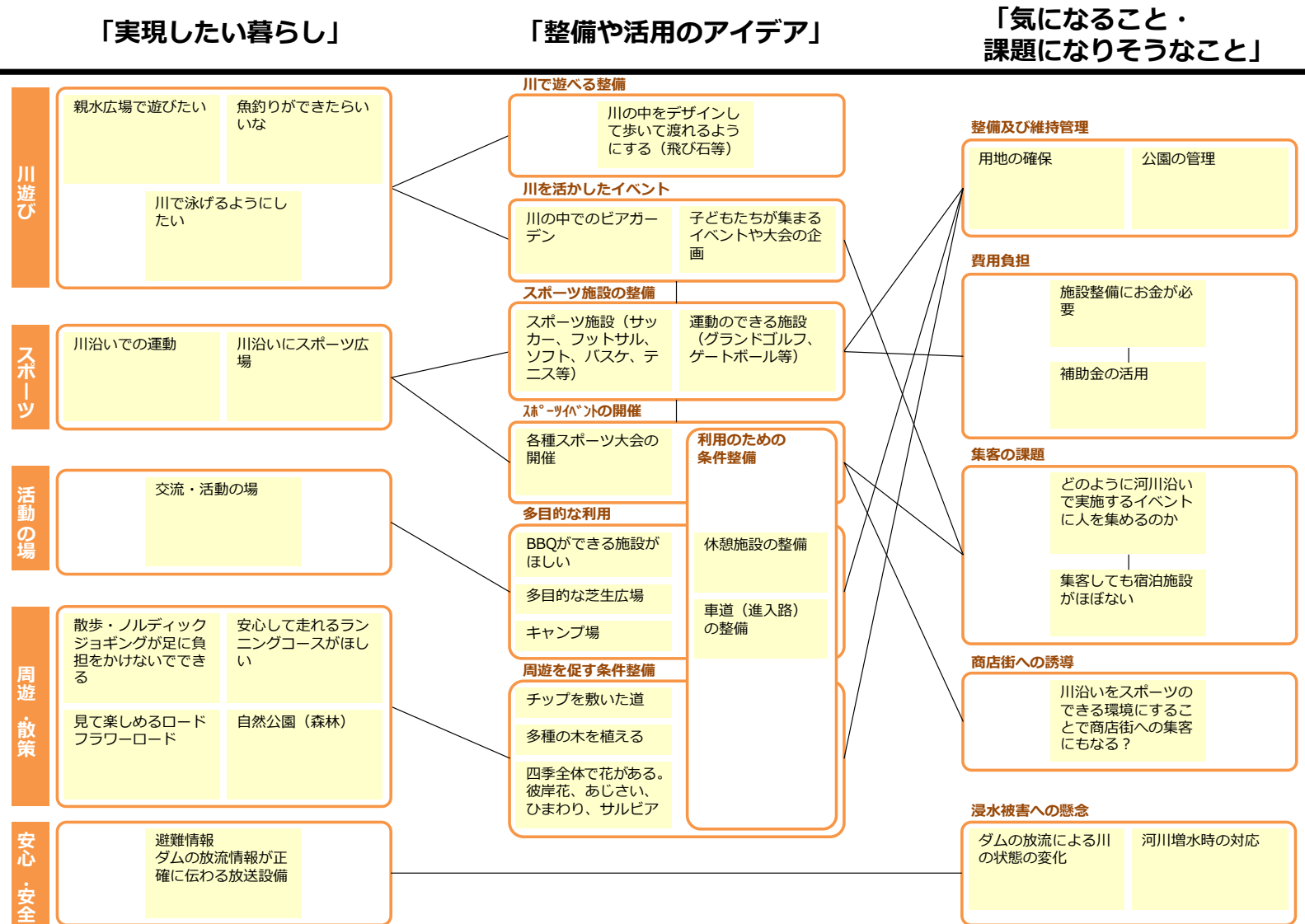
「気になること・
課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

肱川とその周辺の整備・活用

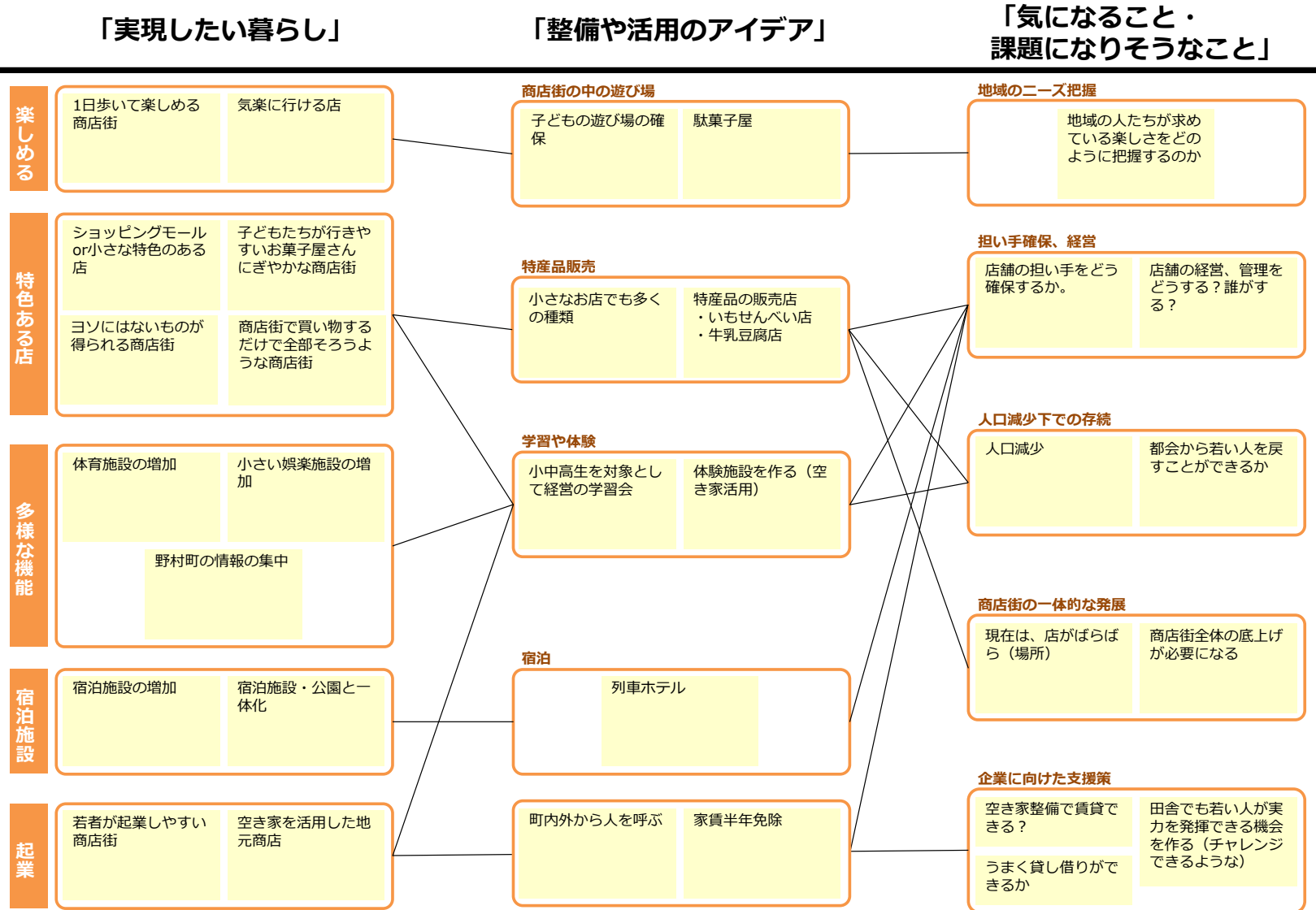
4班



■第2回 4つのテーマに基づき、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

商店街の活性化

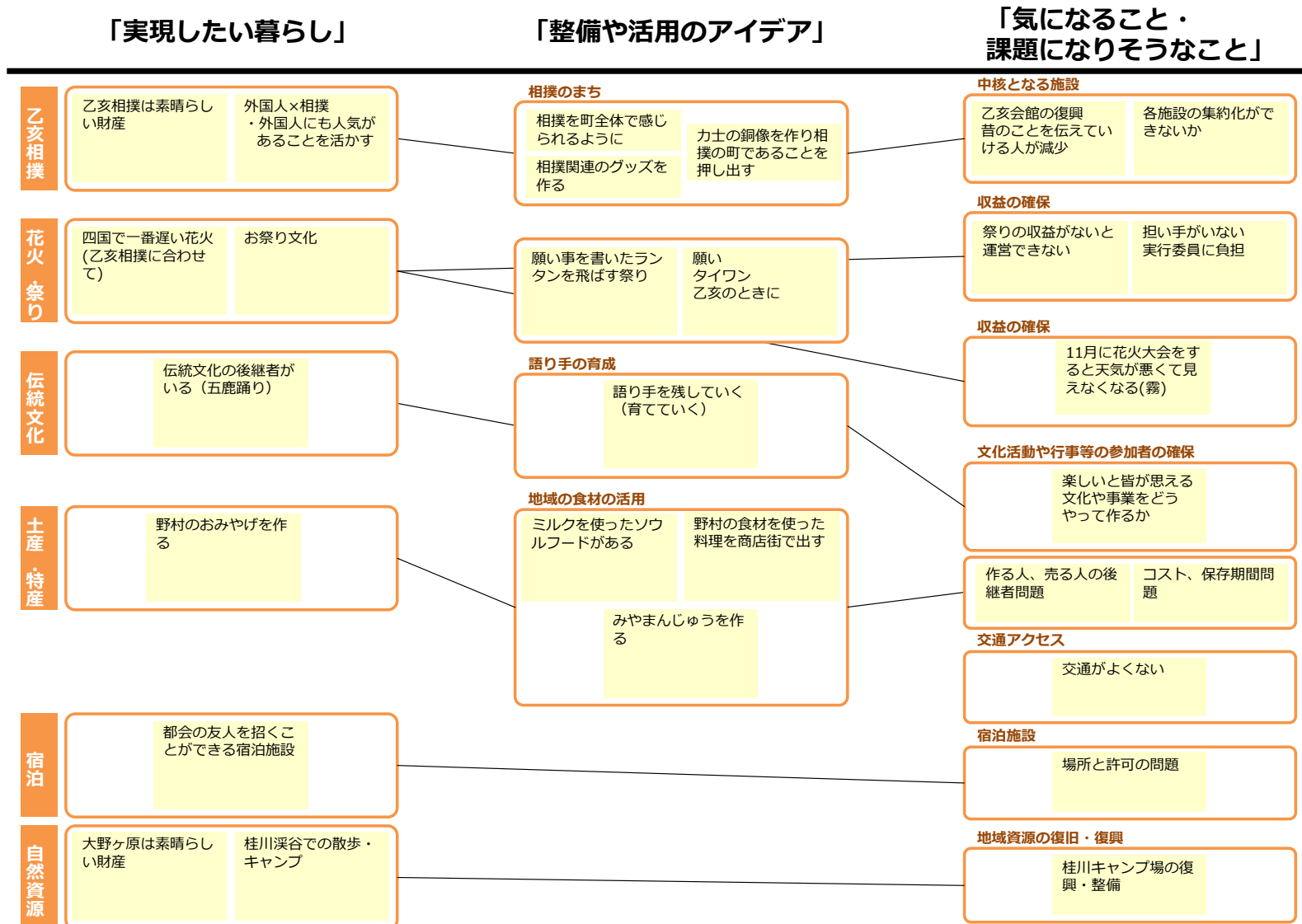
4班



■第2回 4つのテーマに基づき、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

野村の文化の継承と観光

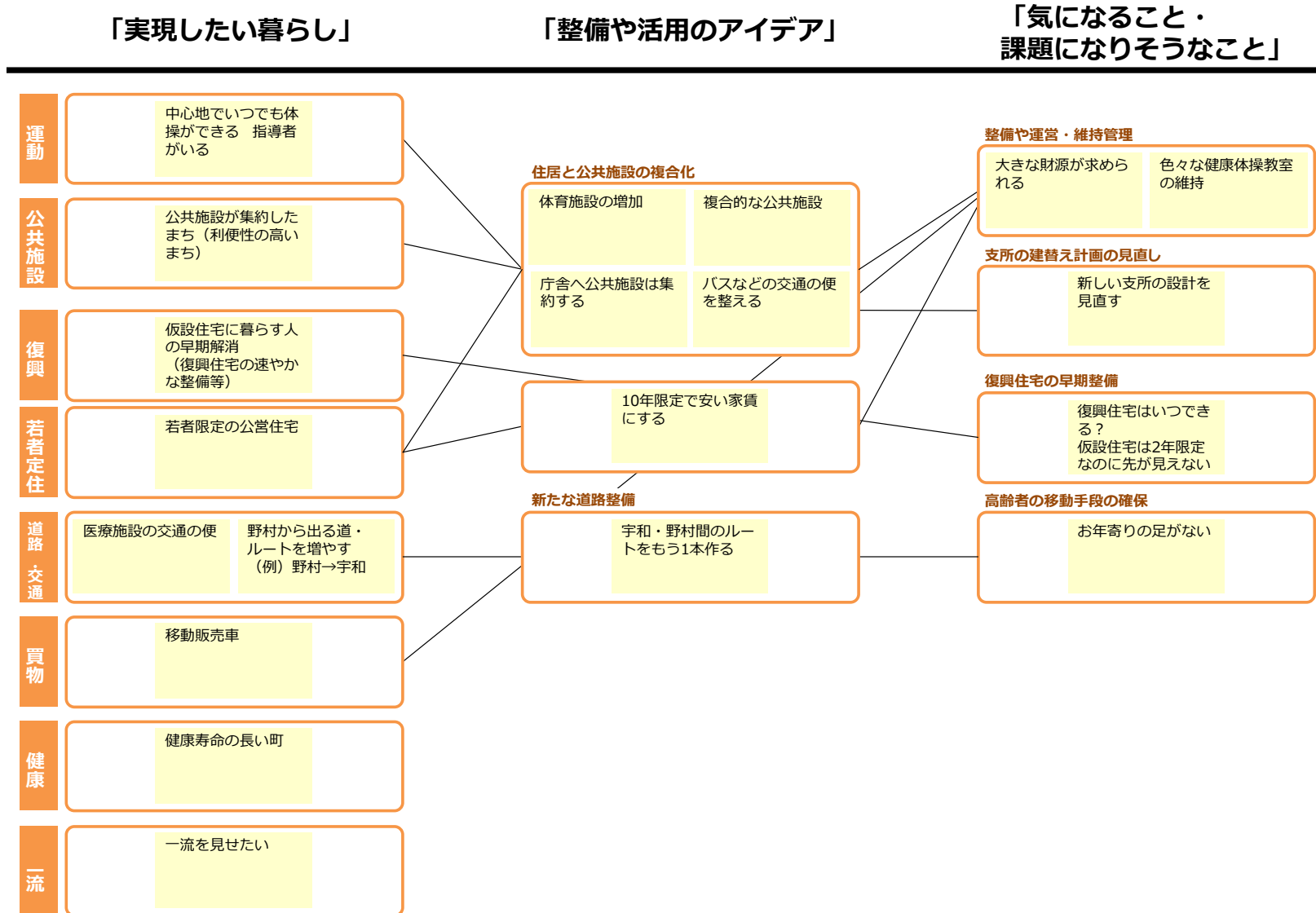
4班



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

日常生活サービスの維持・更新

4班



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

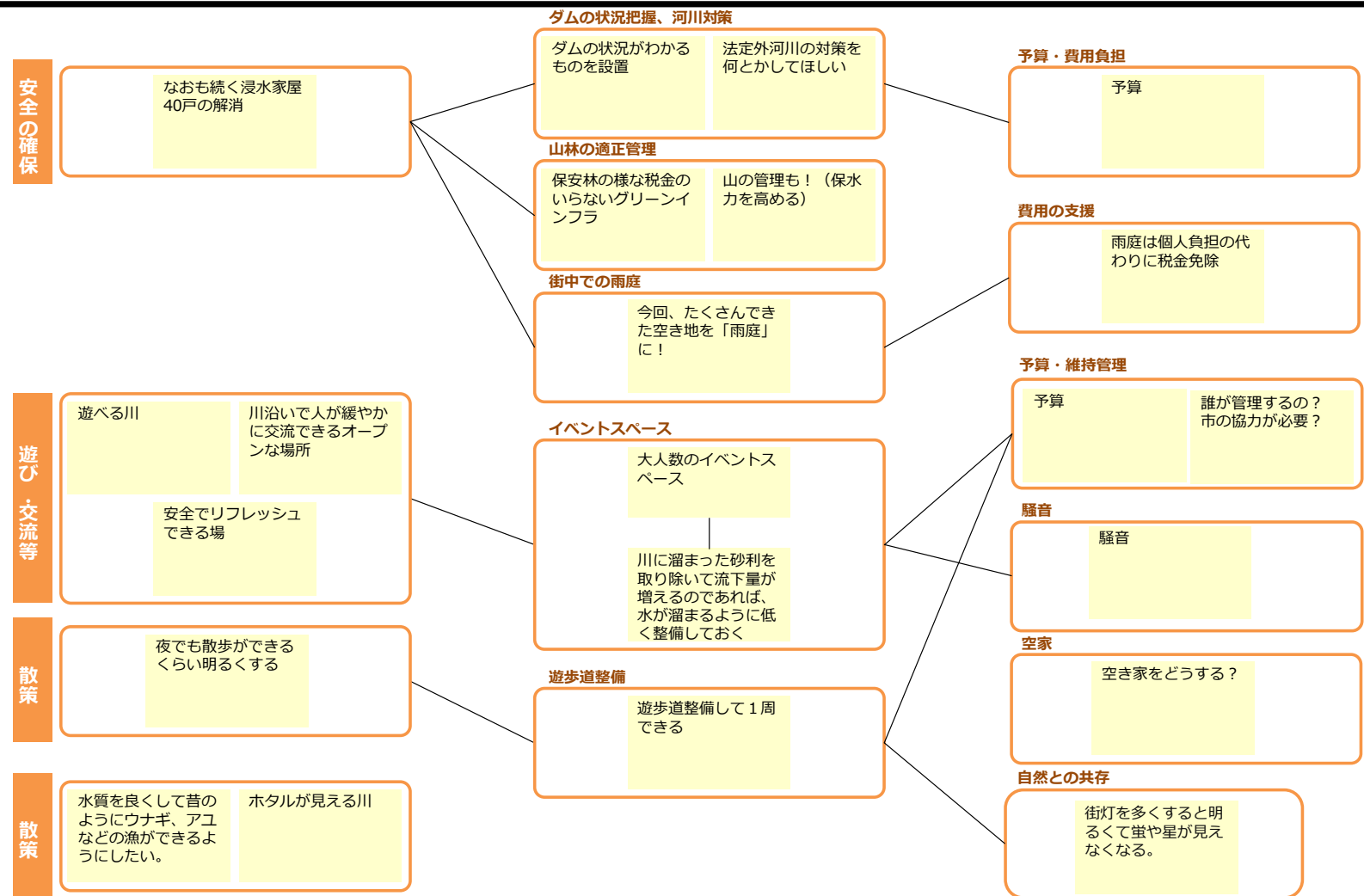
肱川とその周辺の整備・活用

5班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

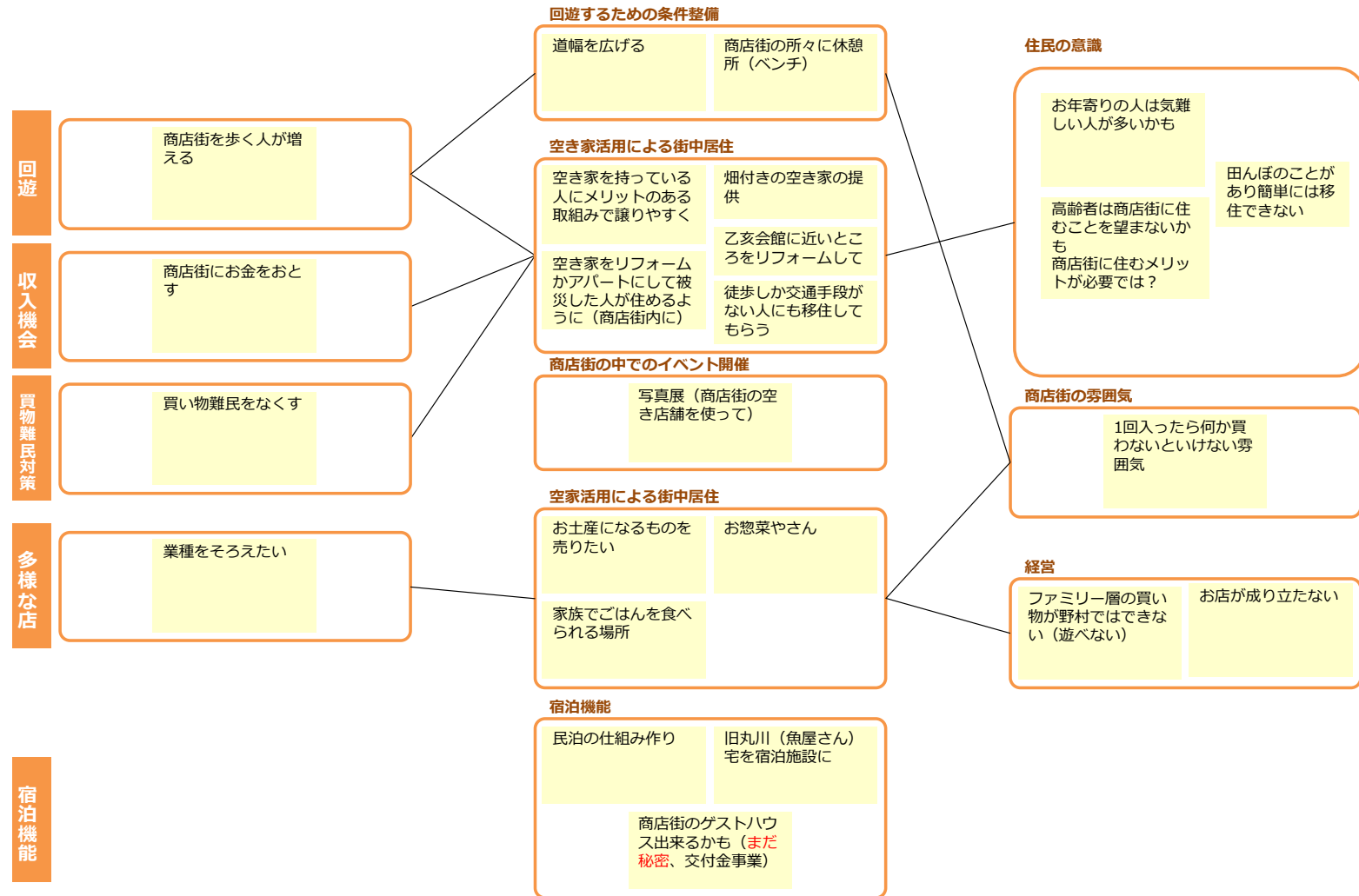
商店街の活性化

5班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

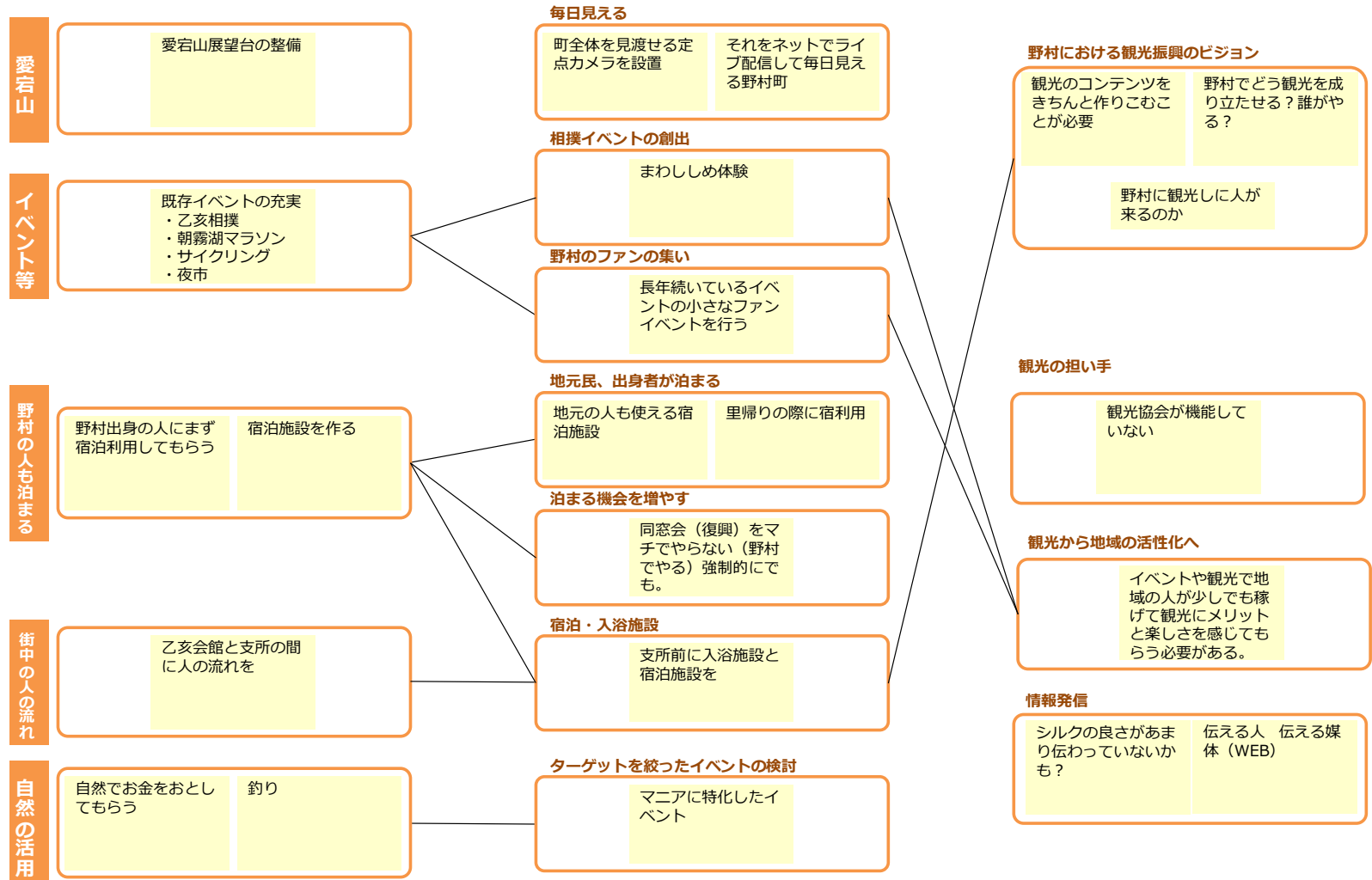
野村の文化の継承と観光

5班

「実現したい暮らし」

「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



■第2回 4つのテーマに基づく、実現したい暮らし、整備や活動のアイデア、気になること、課題になりそうなこと

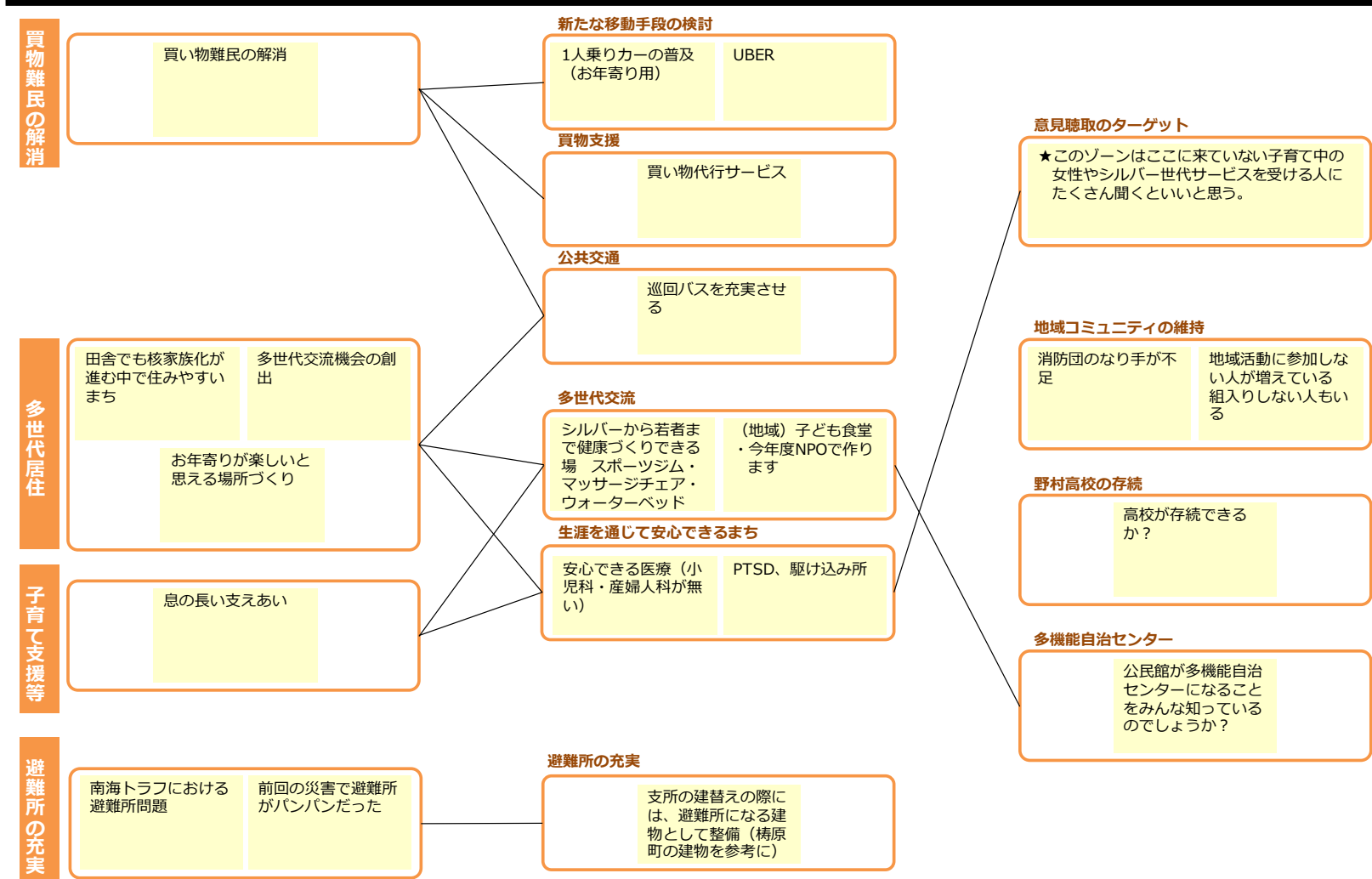
日常生活サービスの維持・更新

5班

「実現したい暮らし」

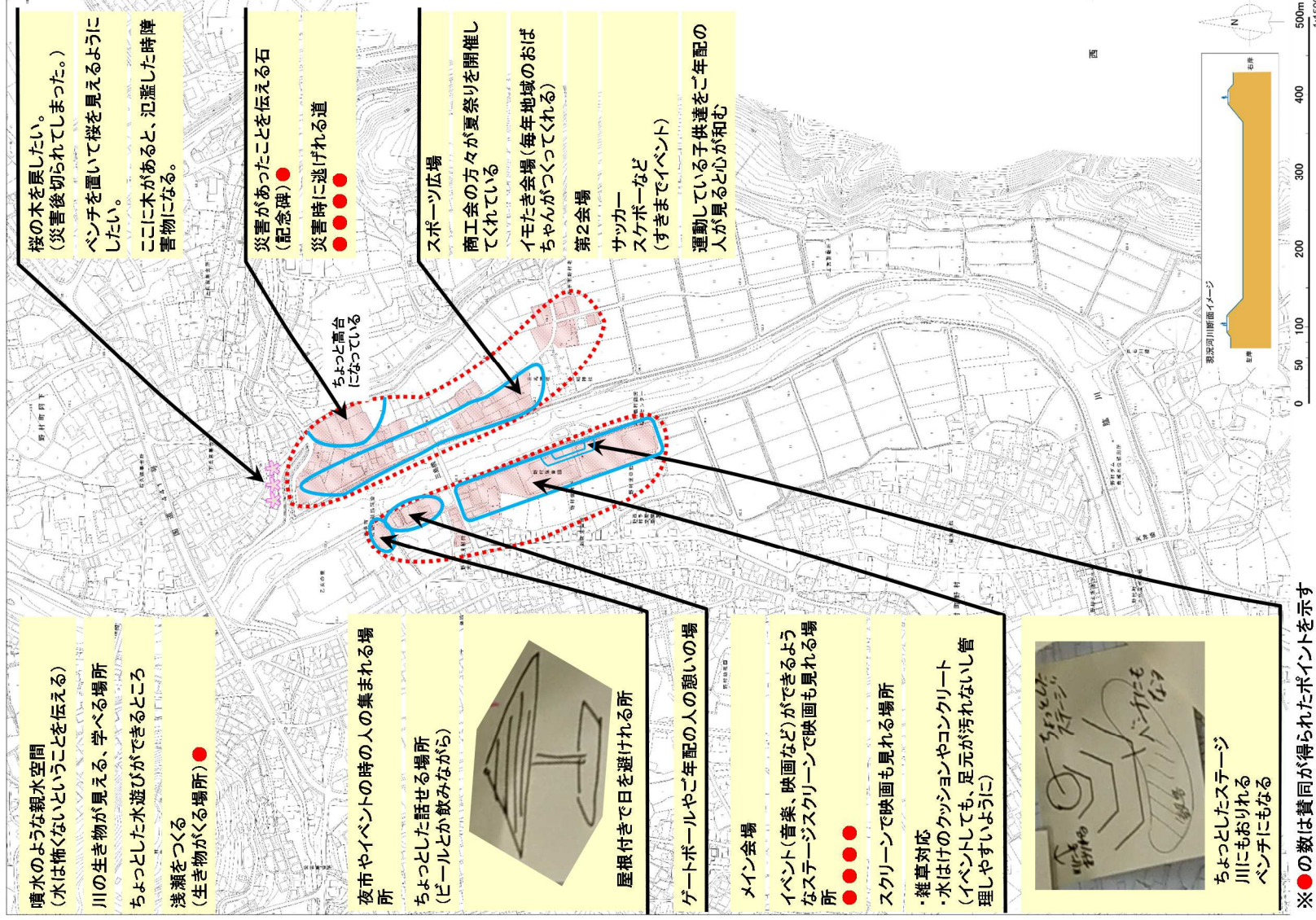
「整備や活用のアイデア」

「気になること・課題になりそうなこと」



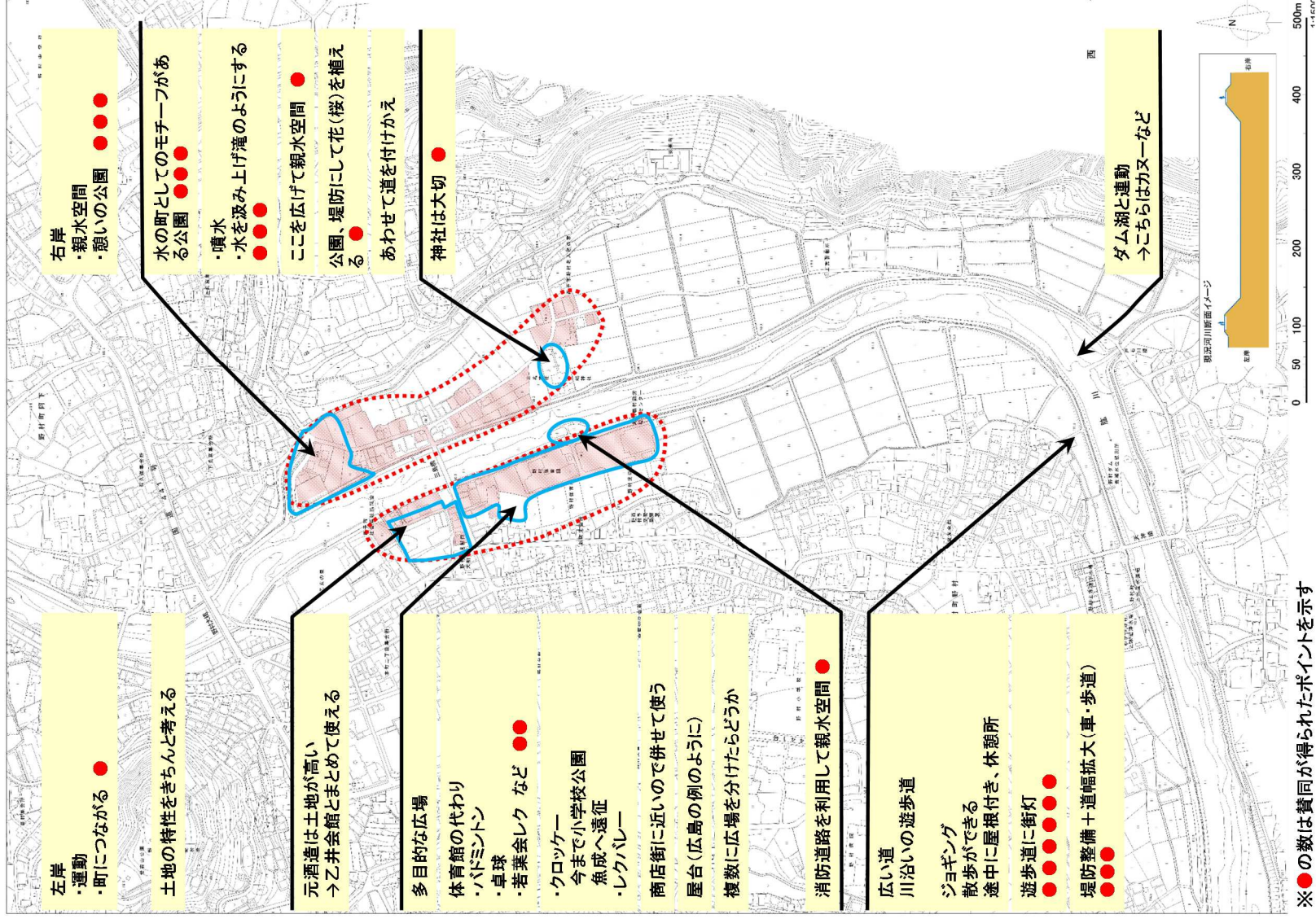
■第3回 肱川とその周辺の整備・活用

1班

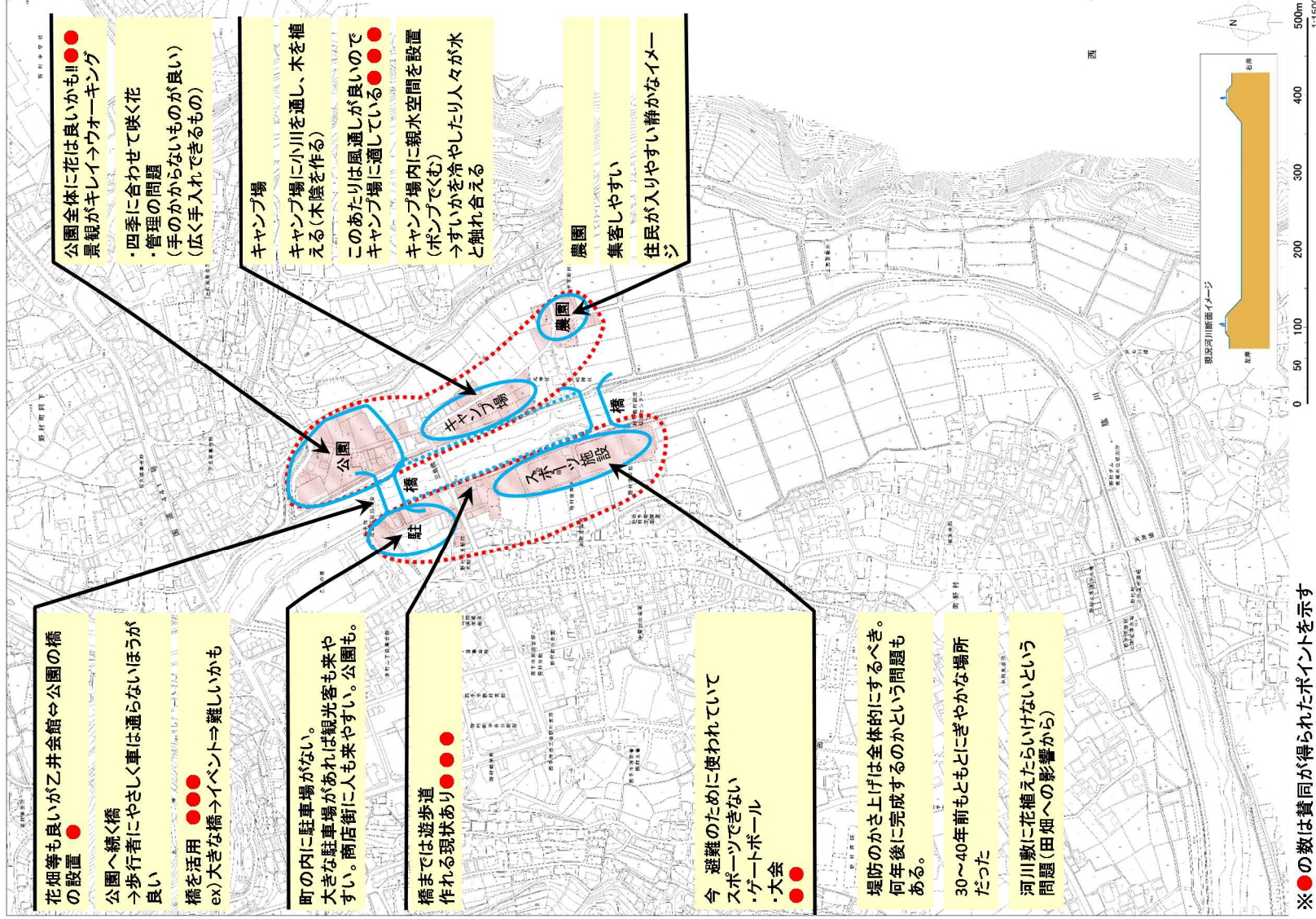


■第3回 肱川とその周辺の整備・活用

3班



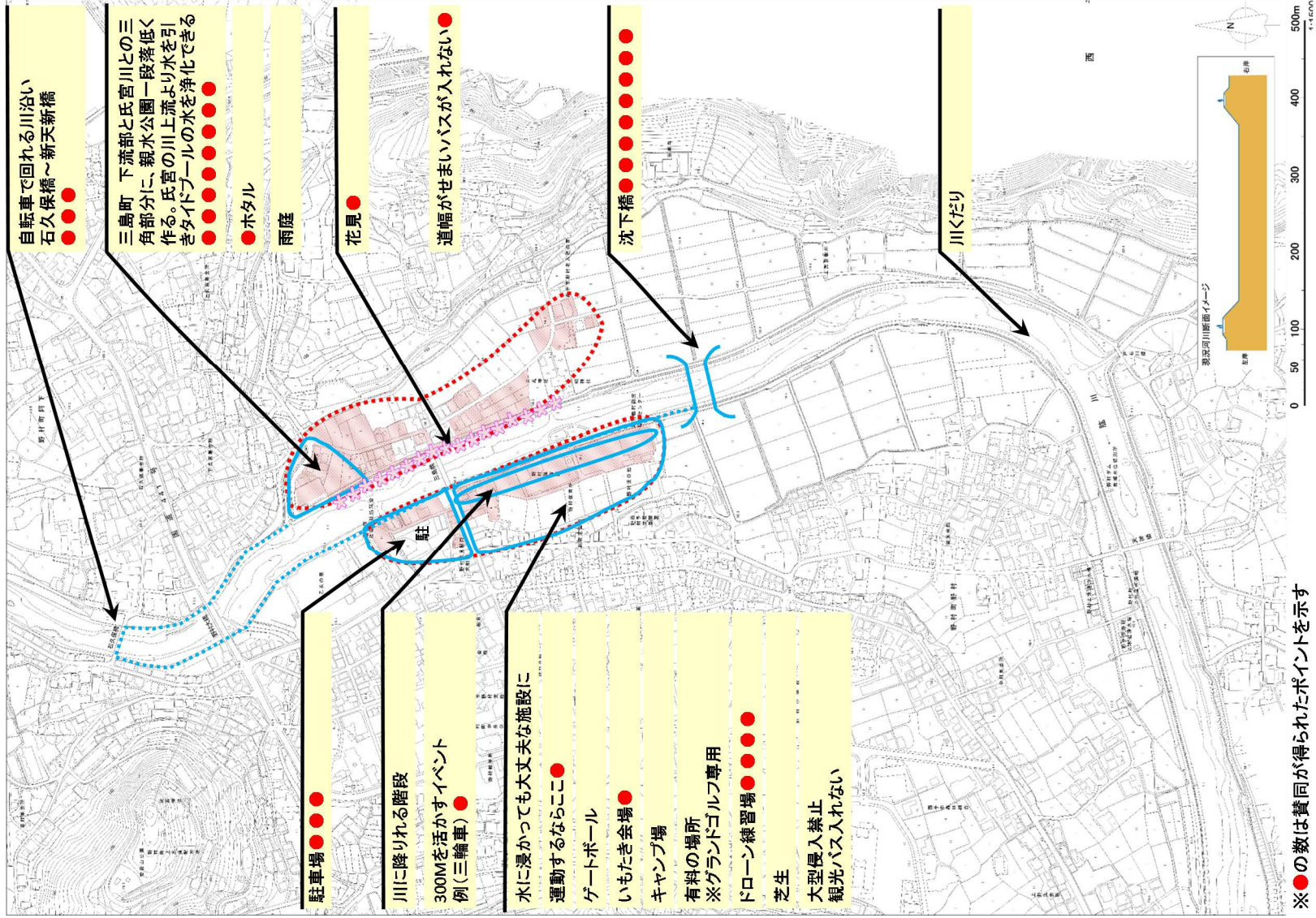
■第3回 肱川とその周辺の整備・活用
4班



※●の数は賛同が得られたポイントを示す

■第3回 肱川とその周辺の整備・活用

5班



※●の数は賛同が得られたポイントを示す

第4回 肱川と川沿いの空間整備・利用案

第4回WS結果

肱川と川沿いの空間整備・利用案

[1班]

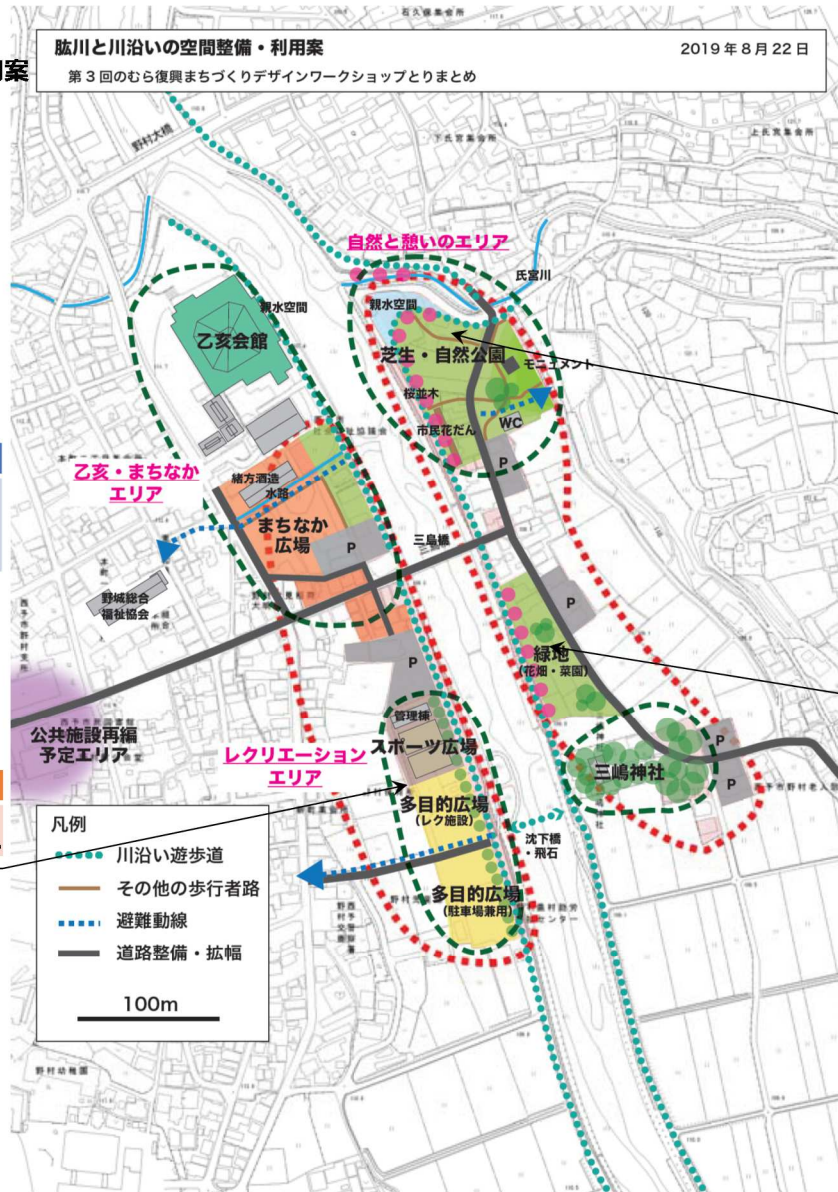
肱川と川沿いの空間整備・利用案
2019年8月22日
第3回のむら復興まちづくりデザインワークショップとりまとめ

河川整備 (肱川)

- ・引堤をする場合、どこまでの範囲となるのか？残った家があるので懸念。
- ・子どもが川に近づける(入れる)ようになれば良い。

レクリエーションエリア

- ・体育館がなくなることから、屋内と屋外の融合した施設(簡易な屋根など)を望む。



自然と憩いのエリア (北側)

- ・楽しく、水とのふれあいができる場所になれば良い。
- ・桜は愛宕山で楽しめるので、イチヨウなどの紅葉が楽しめるのもいいかも…。イルミネーションなどにも利用できる。
- ・オープンカフェやビアガーデンなどが楽しめたら良い。
- ・車道が中央を走っているが、東側に振って空間を一体的に利用できるようにしては。

自然と憩いのエリア (南側)

- ・緑地(菜園)で栽培する採れたての野菜等売りたい。バーベキューで使うのも良い。
- ・バーベキューやキャンプなどができれば良い。

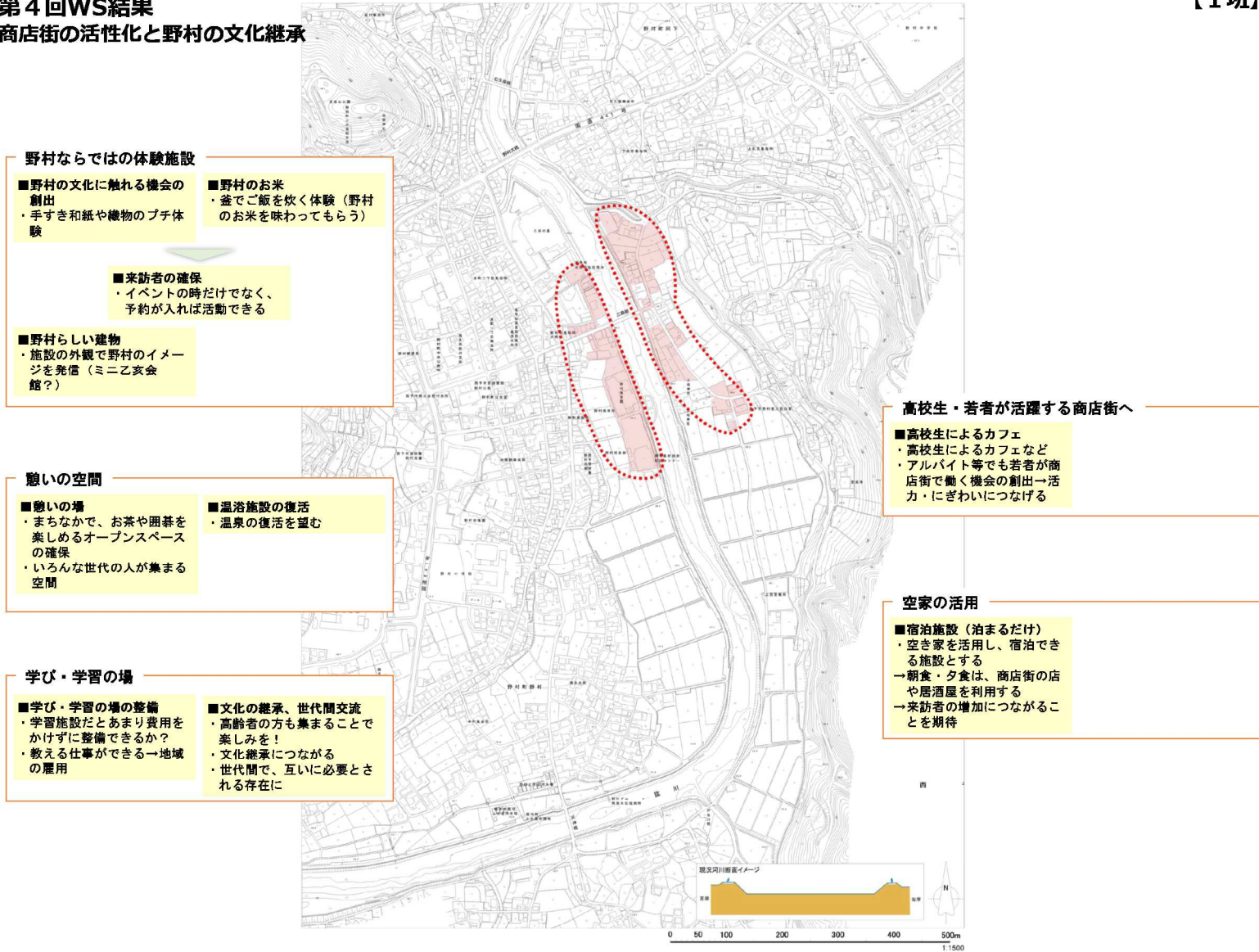
安全性

- ・水の状況など危険が察知できるように。

■第4回 商店街の活性化と野村の文化継承

【1班】

第4回WS結果 商店街の活性化と野村の文化継承



■第4回 肱川と川沿いの空間整備・利用案

第4回WS結果

肱川と川沿いの空間整備・利用案

肱川と川沿いの空間整備・利用案

2019年8月22日

第3回のむら復興まちづくりデザインワークショップとりまとめ

【2班】

河川整備（山瀬川）

- 山瀬川の川幅を広げて欲しい。
- 出口が狭いため、市で土地を買収して川の流れを大きく変える。

乙亥・まちなかエリア

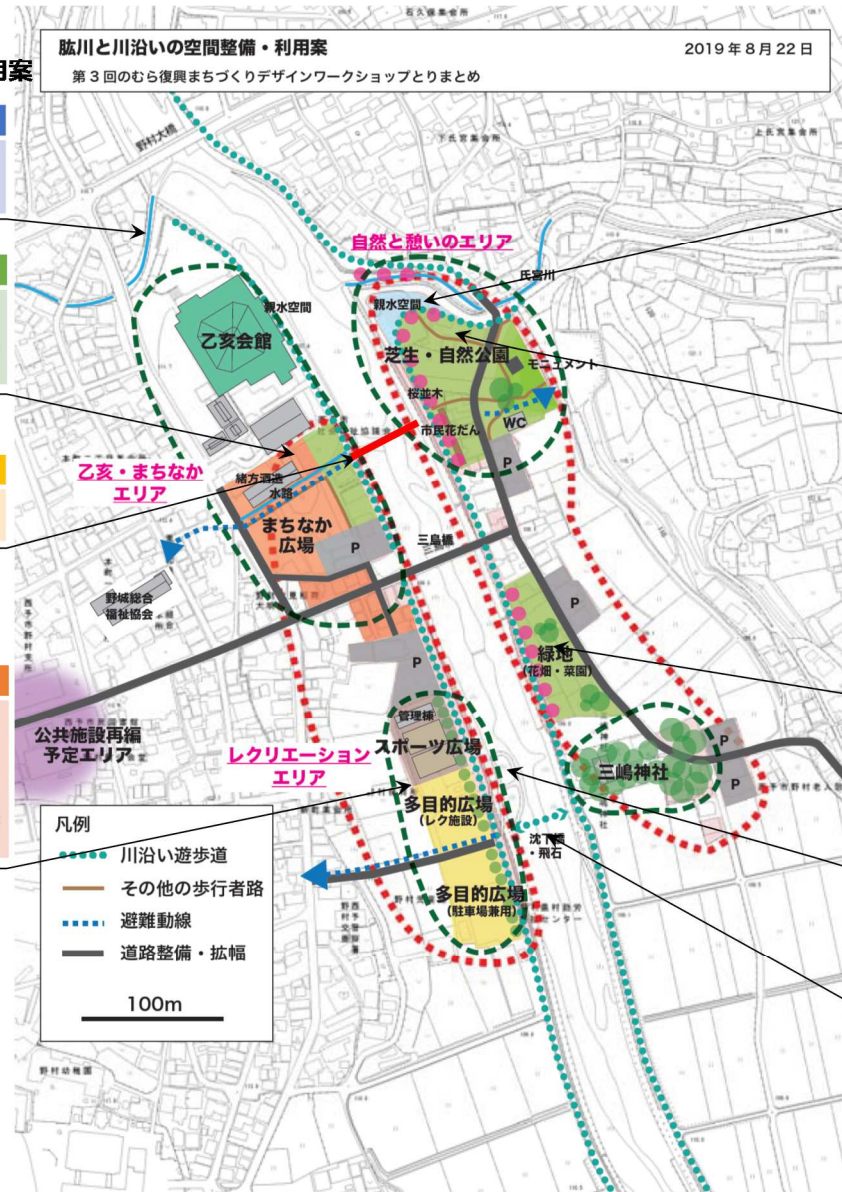
- 温泉施設の復活を望む。
- スポーツ広場で汗をかいた後にお風呂に入れるように。乙亥会館に訪れた人が温泉に入るといった連携も可能。

動線

- 自然公園とまちなか広場をつなげるために飛石を整備。

レクリエーションエリア

- 自転車などで周回できるトラックを作る。
- 親子でボールを使った遊びができる広場をつくる（トラックの中）。
- 屋内施設でミニバレーなどができれば良い。
- 施設を作るのであれば、水に浸からないようにする…堤防を広げて河川敷を使うなら、今の場所対策をする。



河川整備（氏宮川）

- 断面を広げて、水辺で遊べるようになって欲しい（一番下の断面案）。

自然と憩いのエリア（北側）

- 茶堂を作る。
- 花見が楽しめるように。
- 日よけとなる樹木を植える。

自然と憩いのエリア（南側）

- 野菜などを作る。

河川整備（肱川）

- 河川を掘り下げて欲しい。
- 広げるよりは川のそばに堤防を作る方が安心（一番上の断面案）。
- 景色のことも配慮する堤防をつくる。

動線

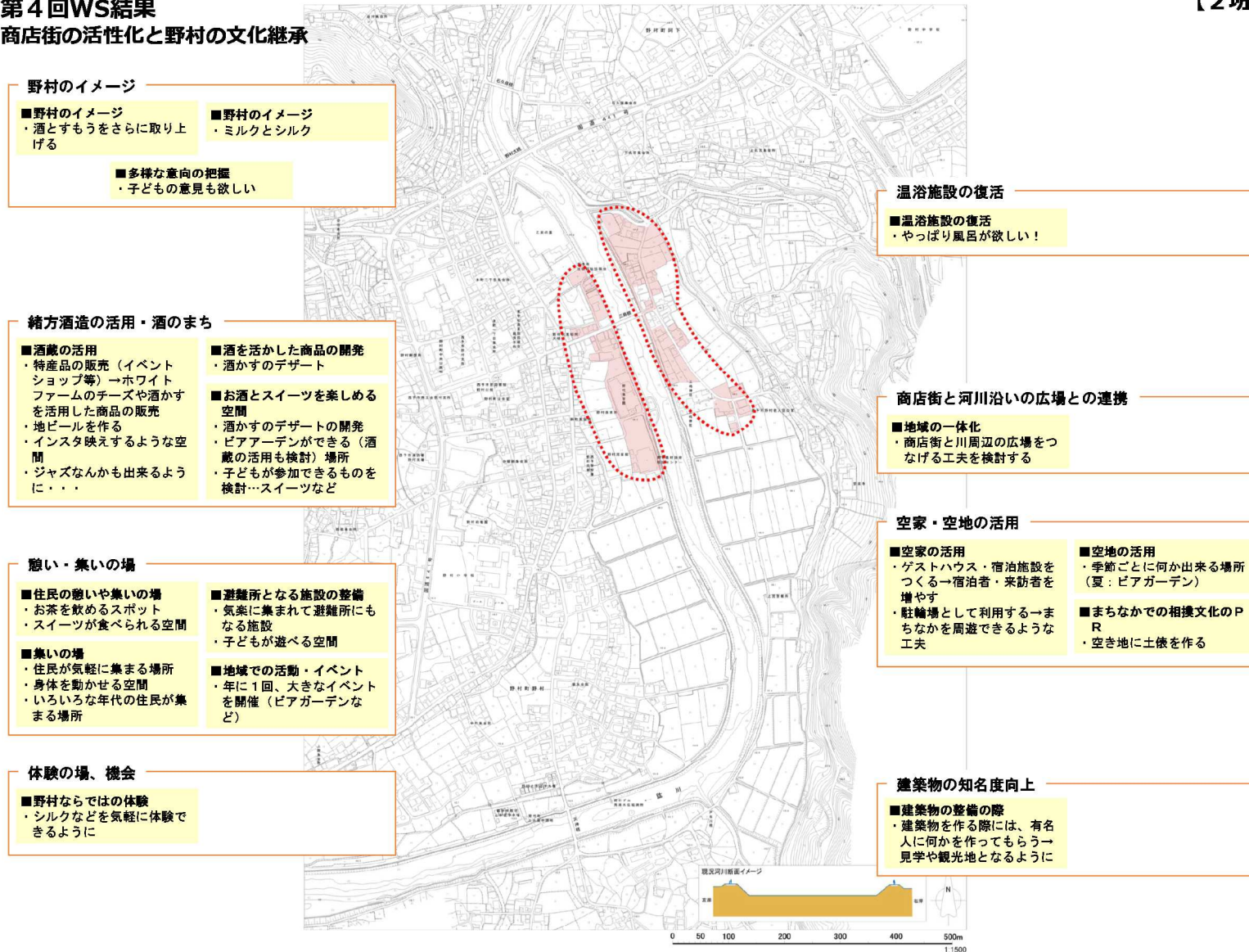
- 沈下橋が良い。

■第4回 商店街の活性化と野村の文化継承

【2班】

第4回WS結果

商店街の活性化と野村の文化継承



■第4回 肱川と川沿いの空間整備・利用案

【3班】

第4回WS結果

肱川と川沿いの空間整備・利用案

肱川と川沿いの空間整備・利用案

2019年8月22日

第3回のむら復興まちづくりデザインワークショップとりまとめ

動線

・乙亥会館と自然と憩いの広場を結ぶ。できれば吊り橋で（歩行者のみ利用）。

乙亥・まちなかエリア

・野村の酒文化・差し合い文化を残すためにも緒方酒造を残す。
・酒蔵の見学や試飲ができるような施設にする。

動線

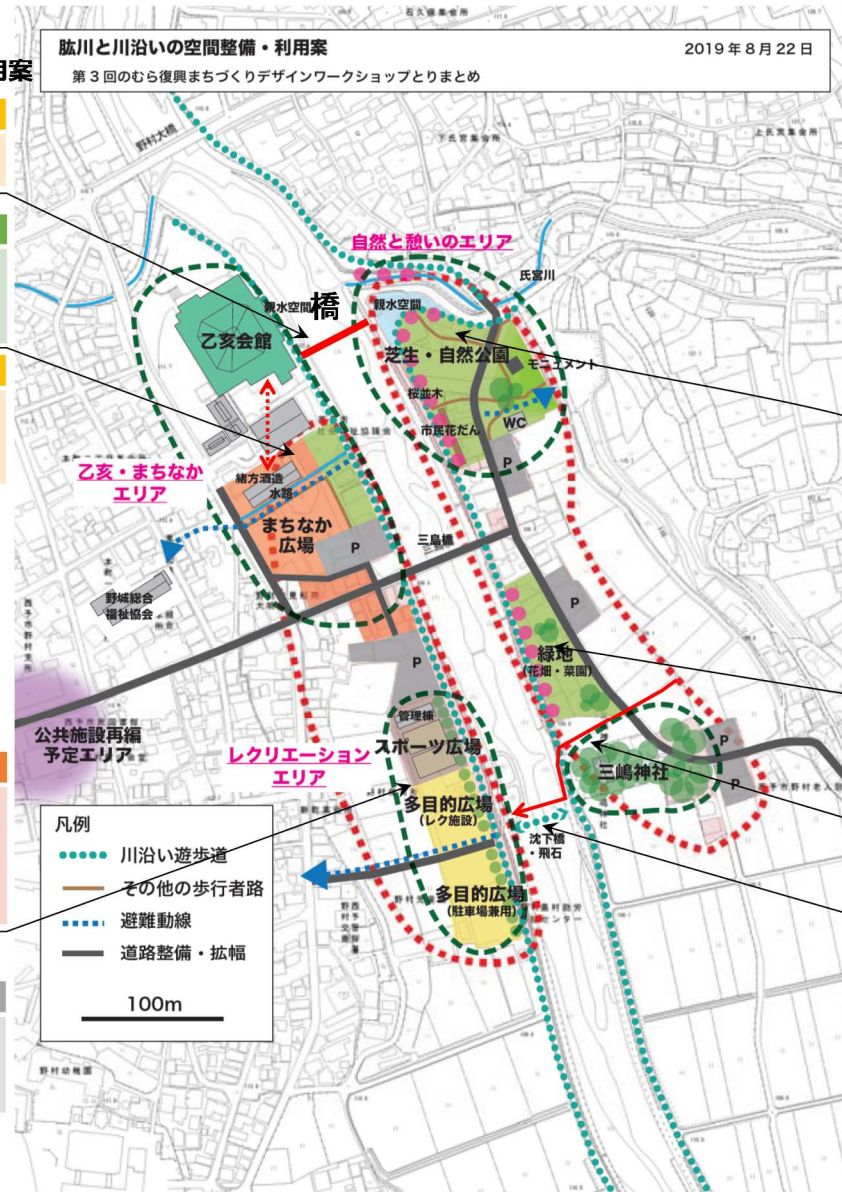
・まちなか広場と乙亥会館をつなげることが重要。
・酒蔵の見学・試飲をして、乙亥会館で遊ぶといった流れを作る。

レクリエーションエリア

・体育館がなくなると避難所が学校となる。子どもの学校があり、避難者も子どもも気兼ねする。そのため、体育館の代替施設として、避難所となる施設を整備する。その際には温浴施設も作って、避難したくなる施設にする。

安全性

・避難所の確保が重要
案①：保育所
案②：運動公園の下に避難施設（体育館）をつくる



自然と憩いのエリア（北側）

・自然と川の近くに降りられるようになれば良い（氏宮川の整備）。

自然と憩いのエリア（南側）

・駐車場や田畑もあわせて公園化して広げる。

動線

・沈下橋に出る道を確認する。

動線

・沈下橋は少し南でも良い。

安全性

・右岸側で避難所を確保する必要あり。情報や避難しやすさが重要。

■第4回 商店街の活性化と野村の文化継承

【3班】

第4回WS結果

商店街の活性化と野村の文化継承

現状の商店街のイメージ

- 商店街のイメージ
- ・品ぞろえが少ない?
- ・比較的年齢層が高い人をターゲットとしている?
- 店に入るのに敷居が高いイメージ

商店街の利用を促す

- 商店街ポイントカードの作成
- ・商店街のポイントカードを作って、利用者のお得感を作る
- ・野村商店街だけでなく、西予市全体で考える
- 土産物売る場
- ・野村ならではの商品売る場を設ける
- ・地区外からの来訪者が訪れるようにする

商店街の再編

- のむらモール構想
- ・店を集める(モールにする)
- ・新たな建物をつくり、テナント方式にする
- 一箇所で買い物ができ、高齢者や子育て世代が助かる

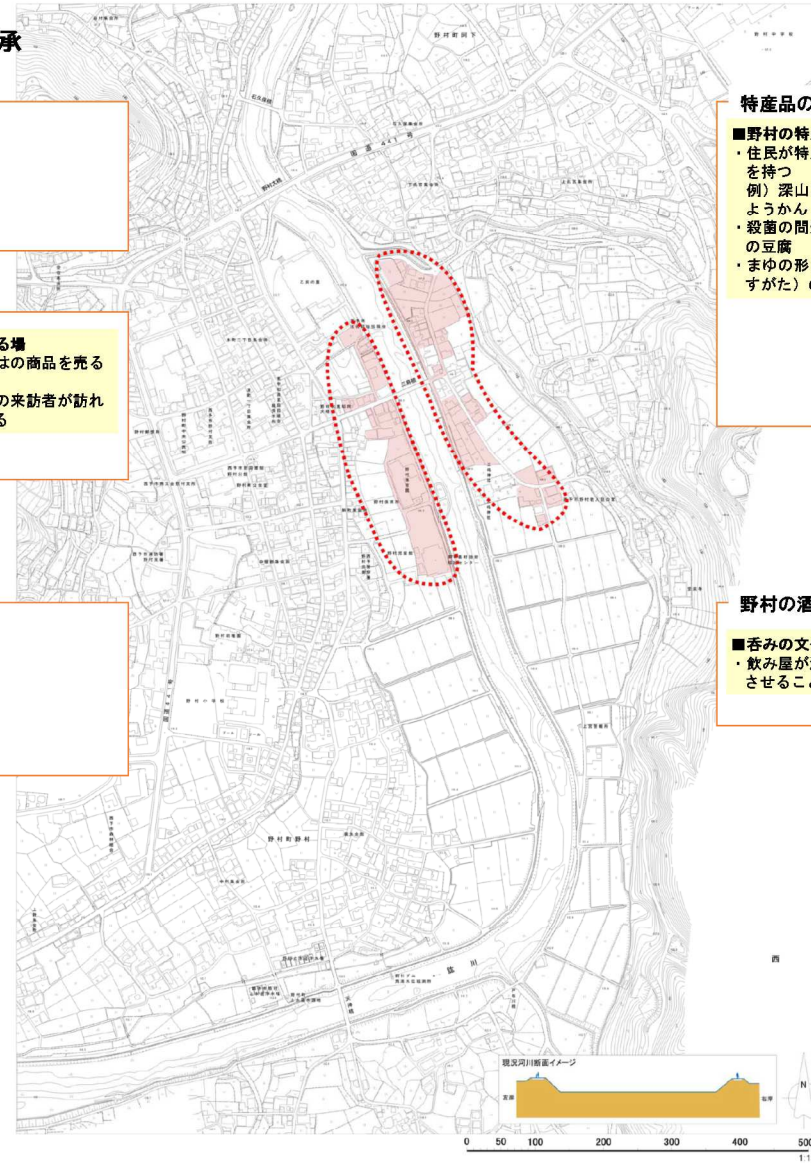
特産品の開発(復活)

- 野村の特産品
- ・住民が特産品に対して誇りを持つ
- 例) 深山まんじゅう、巻きようかん
- ・殺菌の問題があるが、牛乳の豆腐
- ・まゆの形をした最中(まゆずがた)の復活
- 売るための工夫
- ・巻きようかんのインパクトをPRする
- ・巻きようかんを一口サイズで切り売りするなどの工夫を行う

- 専門家の支援
- ・プロにアドバイスをもらいながら料理・売り方を考える

野村の酒文化、周れる商店街

- 呑みの文化の継承
- ・飲み屋が減っており、復活させる必要がある
- ちよいのみ
- ・少しずつ飲み歩けるようにする(野村チロリン村構想)



■第4回 肱川と川沿いの空間整備・利用案

第4回WS結果 肱川と川沿いの空間整備・利用案

肱川と川沿いの空間整備・利用案
第3回のむら復興まちづくりデザインワークショップとりまとめ
2019年8月22日

【4班】

動線

・北側にも沈下橋を作る。計画地全体を利用するイベント等に取組む。

乙亥・まちなかエリア

・外灯のデザインをカッコよくする。野村特有のデザインの採用。
・ソーラー化にして電気代をおさえる。

商店街との連携

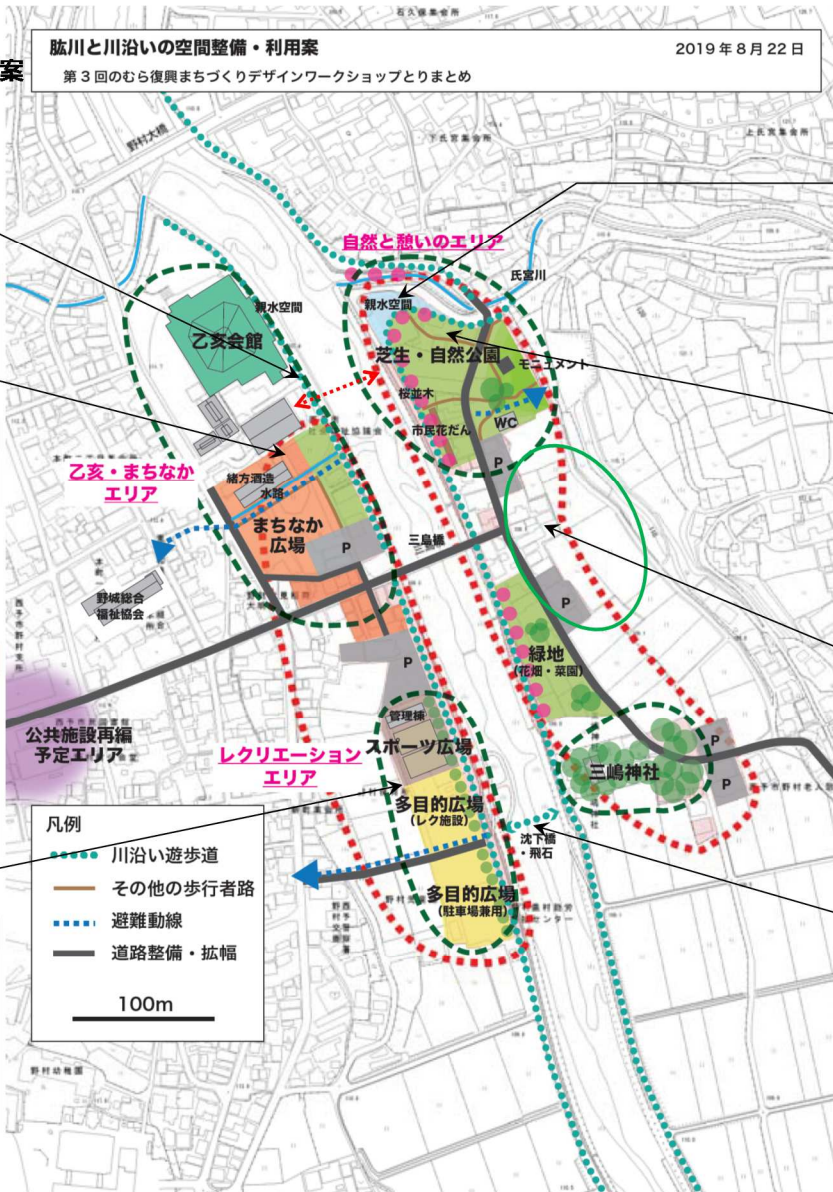
・夜の散歩のために、いろいろな場所にトイレや外灯を整備する。

レクリエーションエリア

・スポーツするには面積が小さい。親水空間（引堤の整備）ができれば、もっと狭くなるのでは。
・キャンプ場として、コテージを併設して雨でも利用できるように。
・左岸にも桜並木をつなげる。ブナなども植える。
・適切な場所にトイレを配置する。

全体

・現状、子どもが遊べる室内空間がない。雨の時にも利用できる屋根付き広場等が欲しい。
・公園・遊歩道に管理しやすい草木を植える（維持管理等の負担低減を事前しておく）。
・朝霧湖マラソンは地域の文化だから大切にしたい。



自然と憩いのエリア（北側）

・親水空間を作ると広場の面積が少なくなるのでは？
・水の綺麗さが気になる（子育て空間につながる場所になって欲しい）。
・遊具などの配置も検討して欲しい。
・公園利用者メインの道（車道は外側に）にする。

自然と憩いのエリア（追加）

・スポーツ広場として整備。
・バスケットリンクを設置して欲しい。
・幅広い年齢層の方が利用できるようなスポーツ広場にする。人が集まる場所とする。

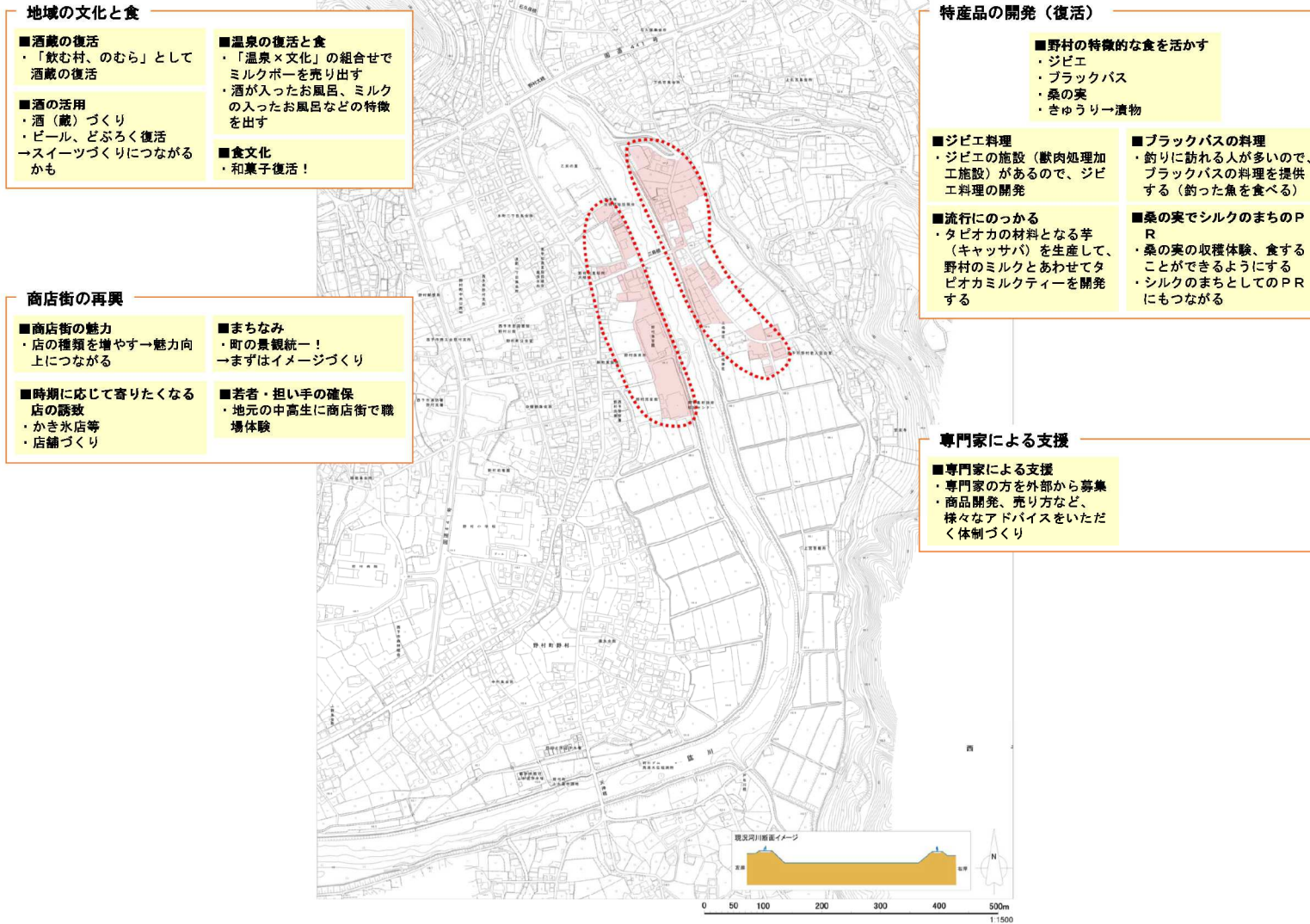
動線

・沈下橋は子どもたちの安全面が心配。

■第4回 商店街の活性化と野村の文化継承

第4回WS結果 商店街の活性化と野村の文化継承

【4班】



■第4回 肱川と川沿いの空間整備・利用案

第4回WS結果

肱川と川沿いの空間整備・利用案

肱川と川沿いの空間整備・利用案

2019年8月22日

第3回のむら復興まちづくりデザインワークショップとりまとめ

乙亥・まちなかエリア

- ・15mのケヤキが4、5本ある。ベンチを作ったら休憩場所として利用できる。
- ・元々、乙亥相撲があったところ。
- ・軽トラ市や既存のイベント会場として、屋根付きの広場などができれば良い。

河川整備 (宇和川)

- ・宇和川は、広げる(引堤)が理想。ただし、家がある人もいるので、実現は…。
- ・堤防をかさ上げするのは、堤防の法面も広がって圧迫感があるのでは。

商店街との連携

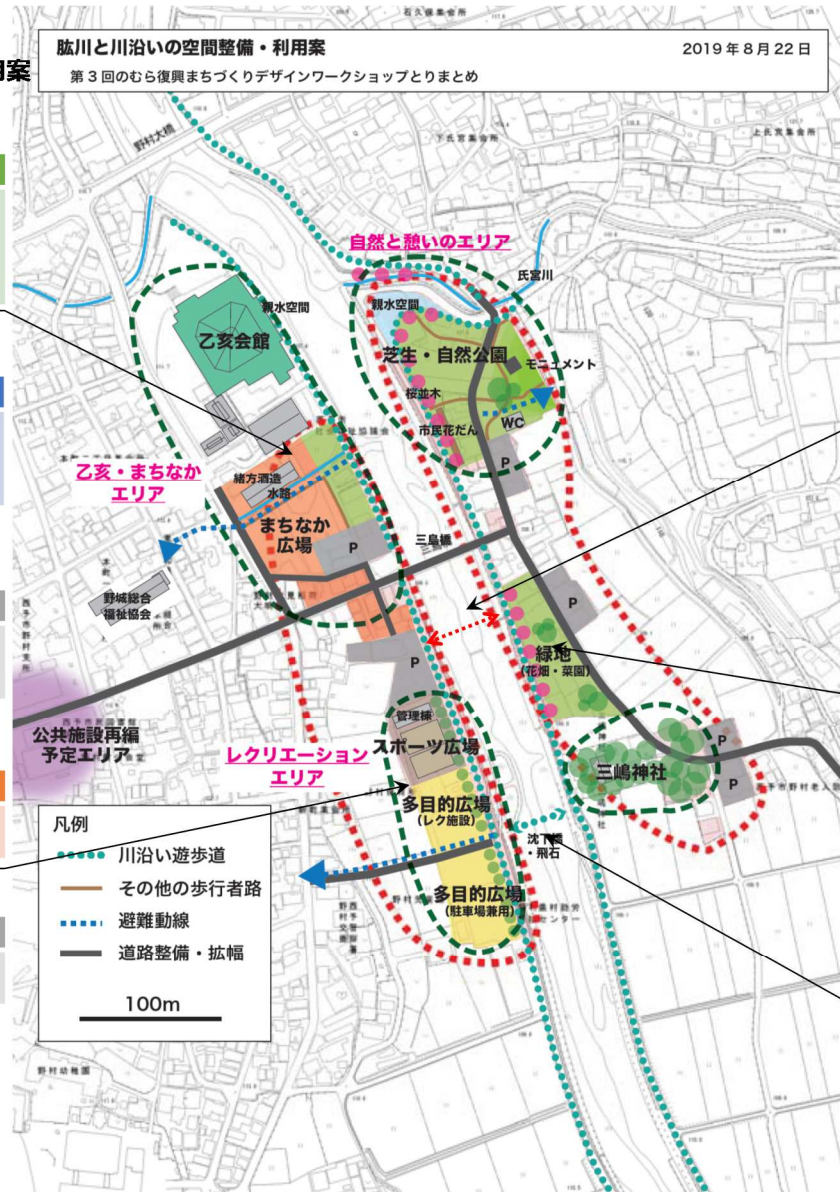
- ・商店街の道を広げる。
- ・朝霧湖マラソンの際にも、道が狭いので広げて欲しい。

レクリエーションエリア

- ・建物を整備するのなら、浸水しても被害がないような高さにすることが必要。

全体

- ・チーズフォンデュや地域の料理が食べられる場所をつくる。



【5班】

河川整備

- ・堰があったが、1年で壊れたことがある。

自然と憩いのエリア (南側)

- ・野村高校の地域ファームの取組。子どもたちが小動物(うさぎ、にわとり等)と触れ合う場とする。
- ・高校生の夢を大人が叶えるお手伝いをする(大学やNPO等)
- ・一面花畑にして、観光スポットにする。

動線

- ・沈下橋を作るならしっかりと作らないと壊れる。
- ・急流で飛石は壊れやすい。
- ・新天神橋の公園で飛石は危険だという小学校からの意見があり撤去した経緯がある。
- ・流下能力を妨げないようにする。

■第4回 商店街の活性化と野村の文化継承

第4回WS結果 商店街の活性化と野村の文化継承

【5班】

野村ならではの“食”

■野村の食のブランド化、食文化の継承
例) ちゃんぽん、ニラ玉子焼き、千代バーグ、玉川ちゃんぽん

■シルクの町としてのPRネタとして
・昆虫食…かいこを食べる
・長野県駒ヶ根市では居酒屋にメニューがありました。

■野村の食の魅力
・良い素材、良い食を提供できることは強み

■人気店のPR
・一心(ラーメン屋)人気あり

■昔の味の復活イベント
・若い人が野村の食文化を引き継ぐ機会

新たな店舗の誘致

■おしゃれな店、楽しめる店
・Takeout&shareカフェ
・運営は日替わり

■Shareカフェ
・昼はカフェ、夜は居酒屋といった有効活用(出店者の負担軽減)

■パン屋の誘致
・日曜日に優雅にTakeout!
・パルファンの代わりとなる新たな店の誘致

野村の酒文化の継承

■呑めるレジェンド
・両手でしかもてないメガジョッキが野村にはある
・メガジョッキPointCardをつくる

■酒と食
・お酒もメもちゃんぽんな野村

■お酒を楽しめる空間の整備
・緒方酒造の周辺でひろめ市場的な施設や外飲みイベントが出来るように
→セットで精形酒造の酒蔵や乙亥会館で文化的な活動を楽しむ(トークショー、映画上映、落語等)

■誰がやる?
・地元の酒屋やお店がテントで運営

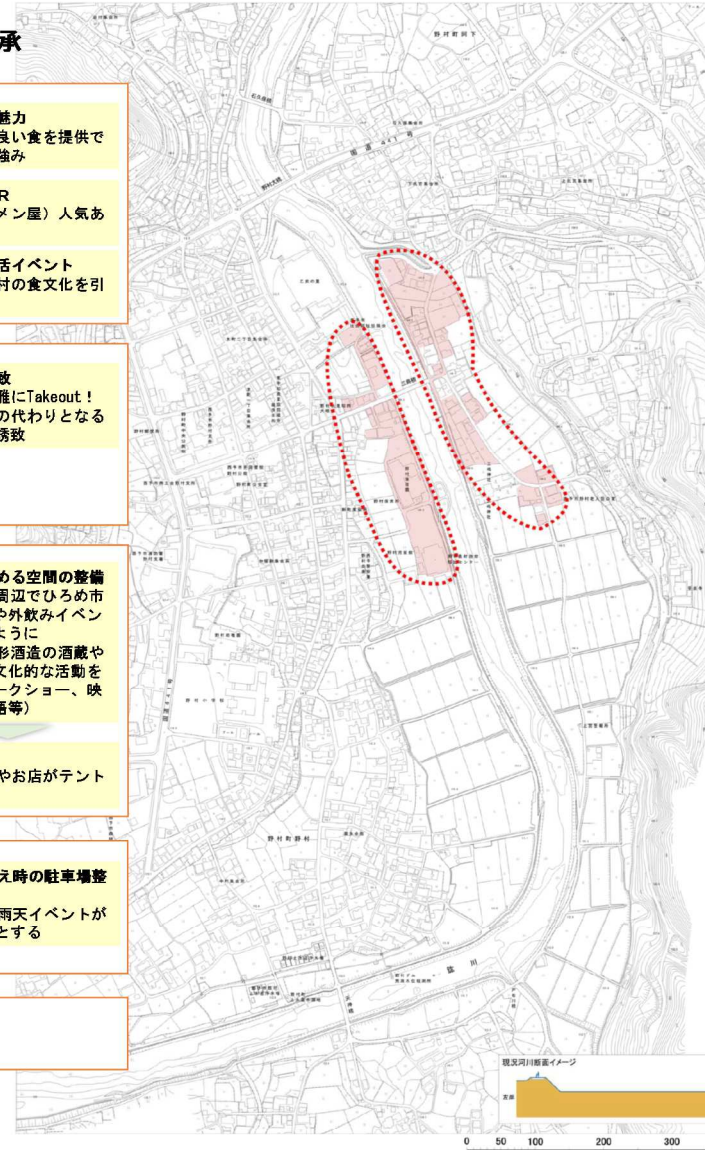
雨天時にも対応できる施設整備

■雨天時にも利用できる空間
・常設の大きなテント設置…日よけにもイベントにも利用できる
・ドーム型の空間整備

■支所の建替え時の駐車場整備
・立体にして雨天イベントができる空間とする

温浴施設

■温浴施設の復活
・お風呂ほしい



祭り等の継承

■地方祭の開催
・10/13地方祭(牛鬼etc…) どうまわる?

楽しめる商店街

■休憩・立ち寄り
・寄道で気軽に行ける場所、空間を整備

■空地の管理
・空地の管理人を決めて、有効利用や適正管理を考える

水と親しむ場

■川床の整備
・竹で川床を作る(川沿いを移動できるようにする)
・夕涼みができる

■川沿いでの食事
・食事を楽しめる(コイやフナなどを食べる)

釣りマニアの更なる誘致

■バス釣り客の更なる誘致
・釣りマニアをもっと囲う

■新たな取組の検討
・グッズ販売につなげることができないか
・地元のバス釣りグループと何か出来ることがないか

高校生や若者の取組を後押しする

■野村高校のマイ(自分)プロジェクト
・自分の好き×地域課題を組み合わせた自分ごとのプロジェクト
・ワクワク行動、計画を立て、実行に向けた支援

■若者の来訪・滞在機会の創出
・野村にいない世代(大学生~20代)が研修やインターンシップで訪れる機会の創出
・課題解決に自分の発想やアイデアを発揮したいと思う人たちがくる機会に

起業支援

■チャレンジショップ
・商店街にチャレンジショップ
・来てほしい、あってほしいお店を誘致

■窓口の設置
・起業しやすいように、商工会で担当を決めて、相談等をしやすい体制をつくる

■支援制度
・物件を決めて提供する基盤を備える
・建物・店の整備等に市が協力する
・協力隊制度を活用して経営する人を呼び込む
・市や県、移住関係の機関が一体となってPRに協力を
・その制度をしっかりと届けた所に届ける仕組みをしっかりとつくる
・町内外の人、団体の協力体制をつくる
・色んなニーズをつなぐことが出来れば可能性はある

■第5回 日常生活サービスの維持・更新

【1班】

第5回WS結果 日常生活サービスの維持・更新

移動手段の確保・充実

■現状のバス

- ・病院に行こうと思っても行けない。
- ・デマンドバスはあるが、曜日によっては走っていない。学校関連で走らないこともある。

■地域での運営方法の検討

- ・必要なときに、必要な車を出せるように調整可能な移動手段を地域で準備する。
- ・運転手を地域で雇う。
→市で運営はできないか？
→ボランティアでできるか？
- ・地域の住民が協力して体制を構築する。

■モノを動かす仕組み（買物支援）

- ・買物代行サービスや移動販売車の維持など、高齢者等の移動の必要性を抑える仕組みを充実させる。

多世代交流から伝統の継承や子育て支援へ

■多世代交流や子育て支援

- ・地域で利用できる食堂・台所を整備する。
→巻きようかんの作り方を学ぶなど、地域の伝統を継承する。
- 世代間の交流が進めば、子どもを預かるといった子育て支援につながる。

■人々の交流

- ・折り紙などを通して世代間交流の機会を作る。
- ・幅広い世代がお話ができるような環境づくり。

温浴施設の整備

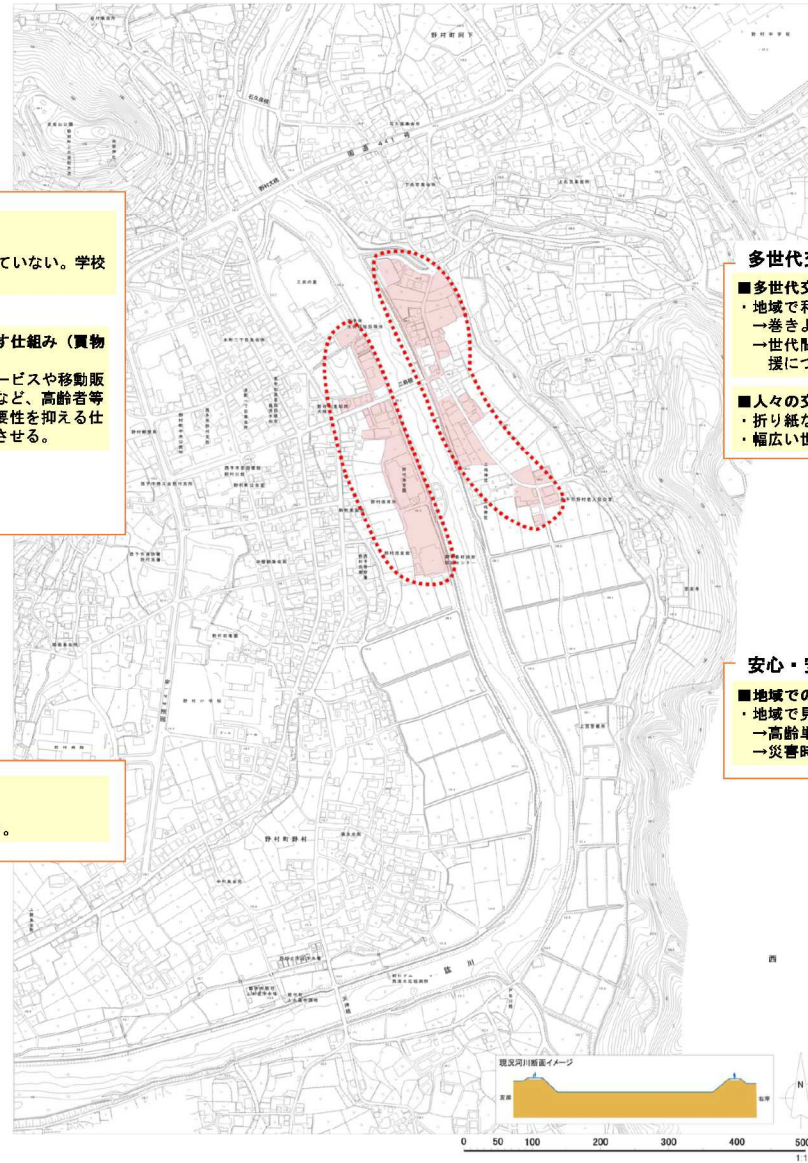
■温浴施設の整備

- ・地域内でのコミュニケーションにつながる。
- ・地域の人が集まる場として重要な役割を担う。

安心・安全

■地域での見守り

- ・地域で見守り隊を作る。
- 高齢単独世帯等の方々を常日頃から見守る。
- 災害時の避難体制の強化にもつながる。



■第5回 肱川と川沿いの空間整備・利用案

第5回WS結果 肱川と川沿いの空間整備・利用案

避難のあり方（左岸側）

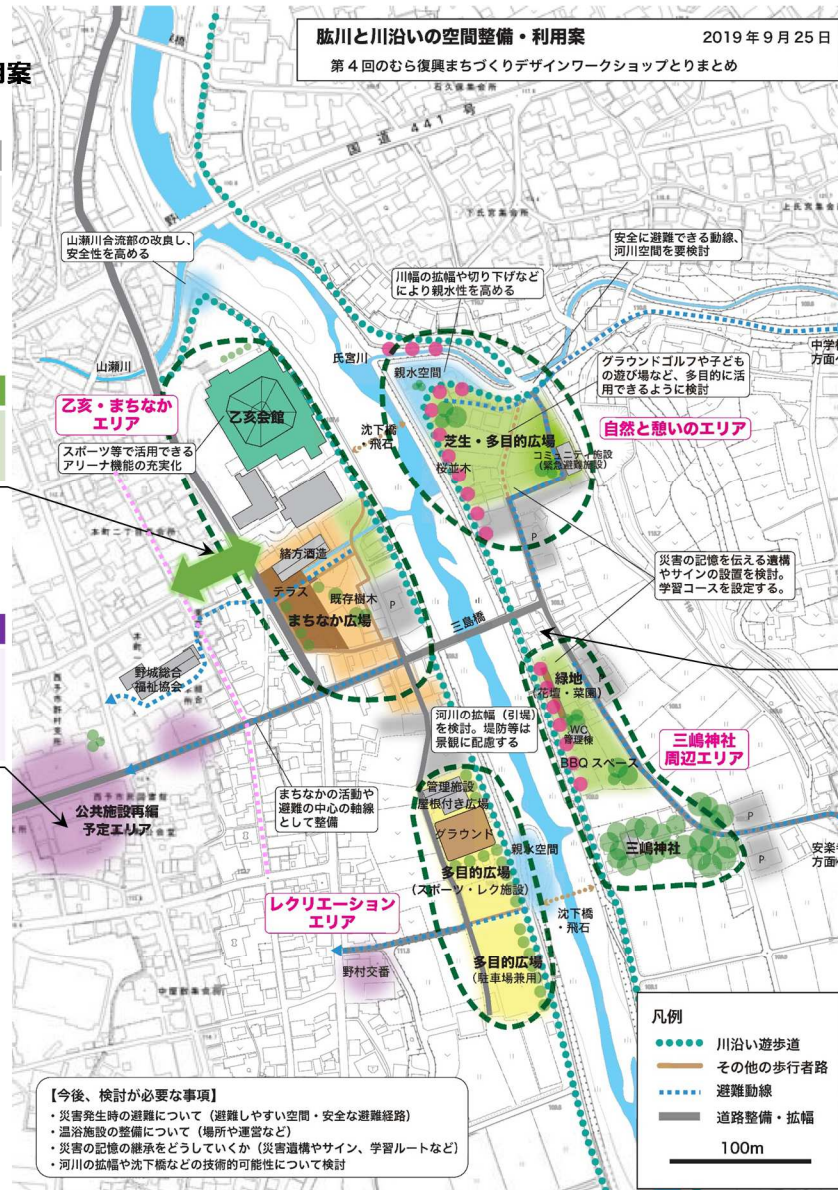
・左岸の人は公民館へ避難する（右岸は中学校）。

乙亥・まちなかエリア

・商店街と計画をつないで活性化につなげる仕組みを考える。
→商店街で店を再開している人を支える

公共施設再編予定エリア

・新しい庁舎（複合施設）を3階建てにして、安全な避難場所にする。
・多目的ホールの整備を望む…カラオケなどを楽しめる場所として、高齢者等が活動できる場所に。



【2班】

避難のあり方（右岸側）

・三島あたりは低くなっており、危険性が高い。
・右岸の人は中学校へ避難する（左岸は公民館）。ただし、避難するための道がないので整備が必要。

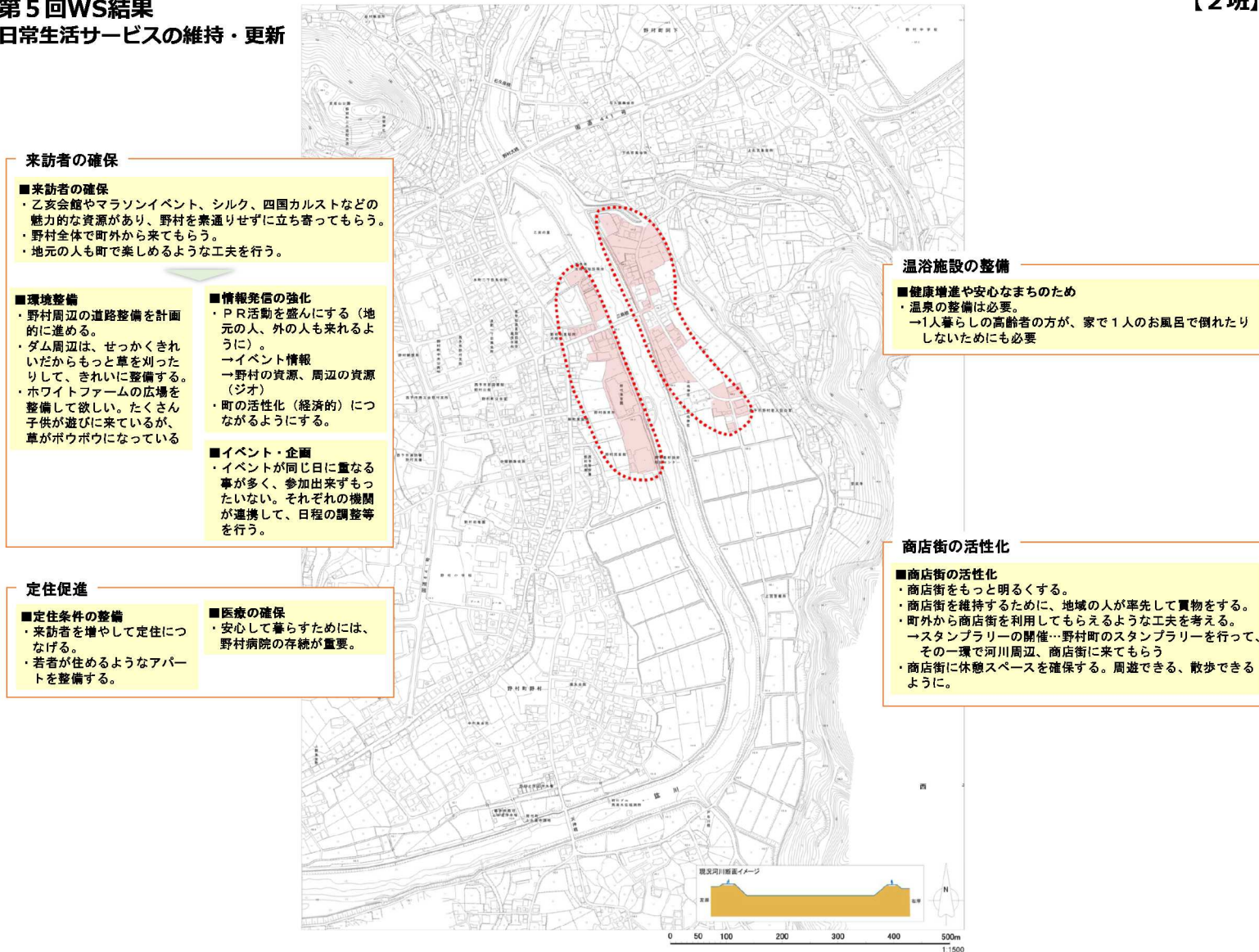
避難のあり方（全体）

・豪雨の場合は、気象情報等を踏まえて「早めの避難が大事」ということを一人ひとりが意識する。
・高齢者や体の不自由な人は、早めに避難するようにする。
・歩けない人は、車で事前に避難する（急な避難の際の渋滞緩和につながる）。
・南海トラフ地震などの突発的な災害に対しては、命を守ることを、その時にどのような行動をとるべきかを事前に考えておく。

■第5回 日常生活サービスの維持・更新

第5回WS結果 日常生活サービスの維持・更新

【2班】



■第5回 肱川と川沿いの空間整備・利用案

第5回WS結果 肱川と川沿いの空間整備・利用案

河川整備（肱川）

- 川の逆流を防げるような改修を進める。

乙亥・まちなかエリア

- 乙亥会館で写真展等を行う…観光客等の来訪者等に対して被害があったことを伝える。

公共施設再編予定エリア

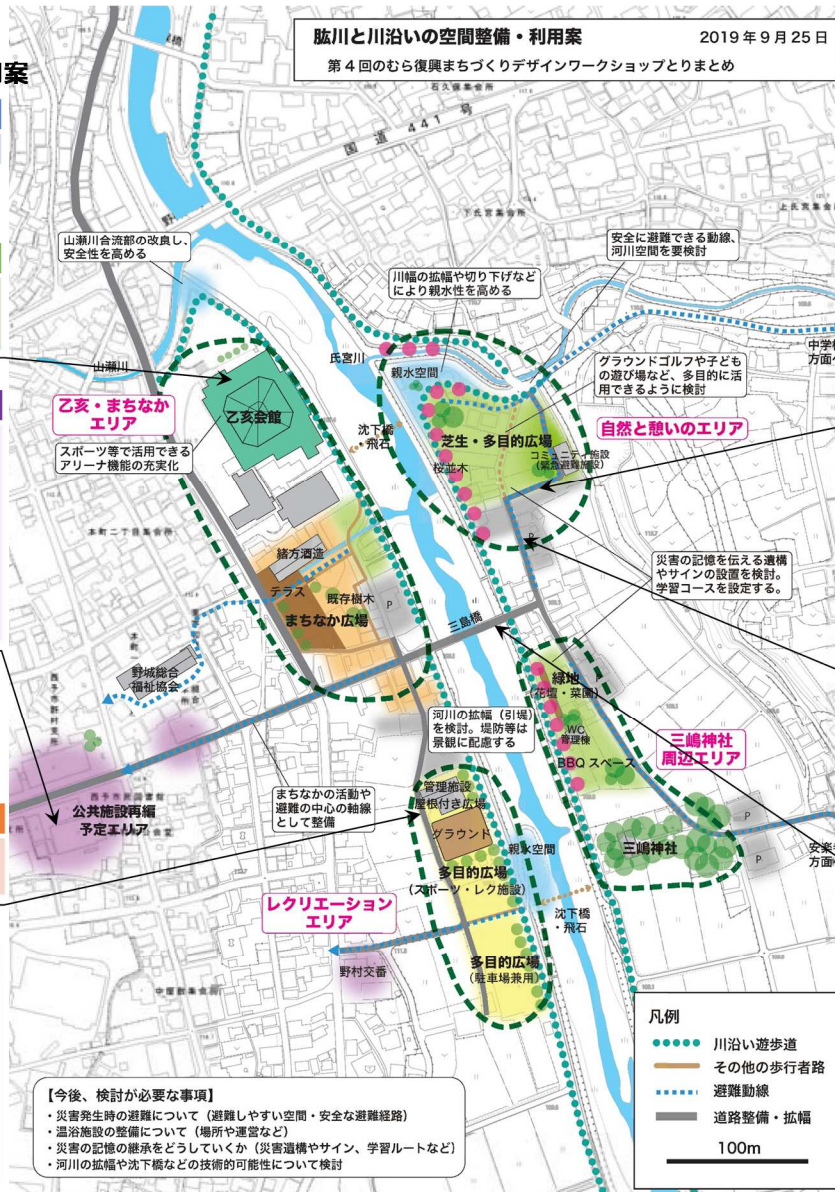
- 早目の避難を促すためにも「避難をしたくなる施設」が必要。
- 避難を第一の目的とした施設の整備
- 温浴施設のある避難所（長期避難には温浴施設が必要）
- 避難所でできることを看板等で表示する（例：コンセントや発電機、貯水槽等の設置状況）
- ゆとりのある空間を確保する
- 車で避難できる施設

レクリエーションエリア

- 部活特性を生かした倉庫や部落避難所
- 全域浸水の部落内には倉庫が作れない

避難のあり方（全体）

- 地区の孤立を想定した避難所の確保（長期の避難生活を見据えた施設）
- 現在の避難所の収容人数について、現実的に受け入れ可能な人数に見直す。
- 野村地区独特の避難方法を考える。
- ダムでの放流時間などがすぐわかるように
- 危険を防ぐための緊急避難場所と、暮すための避難所の両方を明確にする。



【3班】

■第5回 日常生活サービスの維持・更新

【3班】

第5回WS結果 日常生活サービスの維持・更新

移動手段の確保・充実

- 「飲む村、のむら」の文化を支えるバスの確保
 - ・飲みに行って帰れる時間帯に配慮したバスの確保。
 - ・卯之町を起点に、東と西に夜間快速循環バスを運行させる。
 - 東→野村・城川
 - 西→三瓶・明浜
 - 支所だけに止まるようにして、そこからはタクシーを利用するようにすれば、Win-Winとなるのでは。
 - 通常料金より高い値段とする。
 - ・大きすぎないバス（タクシー会社が運営）を確保する。

温浴施設の整備

- 温浴施設の整備
 - ・整備される広場での運動や会議等の後で温泉に入れることは魅力になる。
- 野村ダムの活用
 - ・野村ダムに出資してもらう。
 - ・野村ダムの水力発電した水を再発電して、温浴施設に利用する。

野村ダムとの共存

- 野村ダムとの共存
 - ・野村ダムから恩恵を受けてきたことを認識する。
 - ・野村ダムを水源として利用している南予用水土地改良連合の3市1町に対して、野村の役割をPRする。

財源の確保

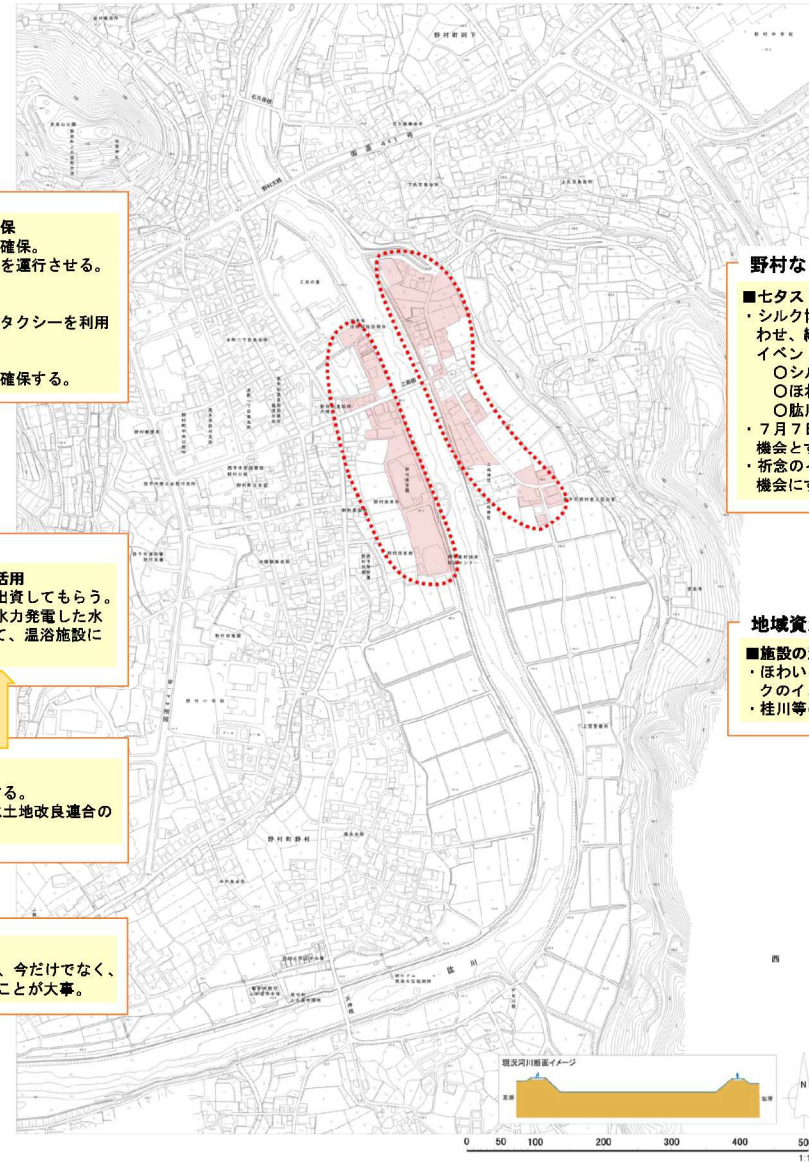
- 財源の確保
 - ・各種の施設整備（特に温浴施設）等に対して、今だけでなく、将来も続けられる財源の確保を検討しておくことが大事。

野村ならではのイベント創出

- セタストーリー
 - ・シルク博物館とほわいとファーム、肱川の3つの資源を組み合わせ、織姫と彦星、天の川を連想させるストーリーを創ってイベントを企画する。
 - シルク博物館→はた織り、織姫
 - ほわいとファーム→牛飼い、彦星
 - 肱川→天の川
 - ・7月7日の七夕イベントとあわせて防災をいっしょに考える機会とする。
 - ・折念のイベントも兼ねて、平成30年7月豪雨災害を語り継ぐ機会にする。

地域資源の整備、充実

- 施設の活用
 - ・ほわいとファームにオートキャンプ場を整備する。ジオパークのイメージを活かした宿泊場所とする。
 - ・桂川等に訪れる人の増加にもつながることが期待。



■第5回 肱川と川沿いの空間整備・利用案

第5回WS結果

肱川と川沿いの空間整備・利用案

河川整備（肱川）

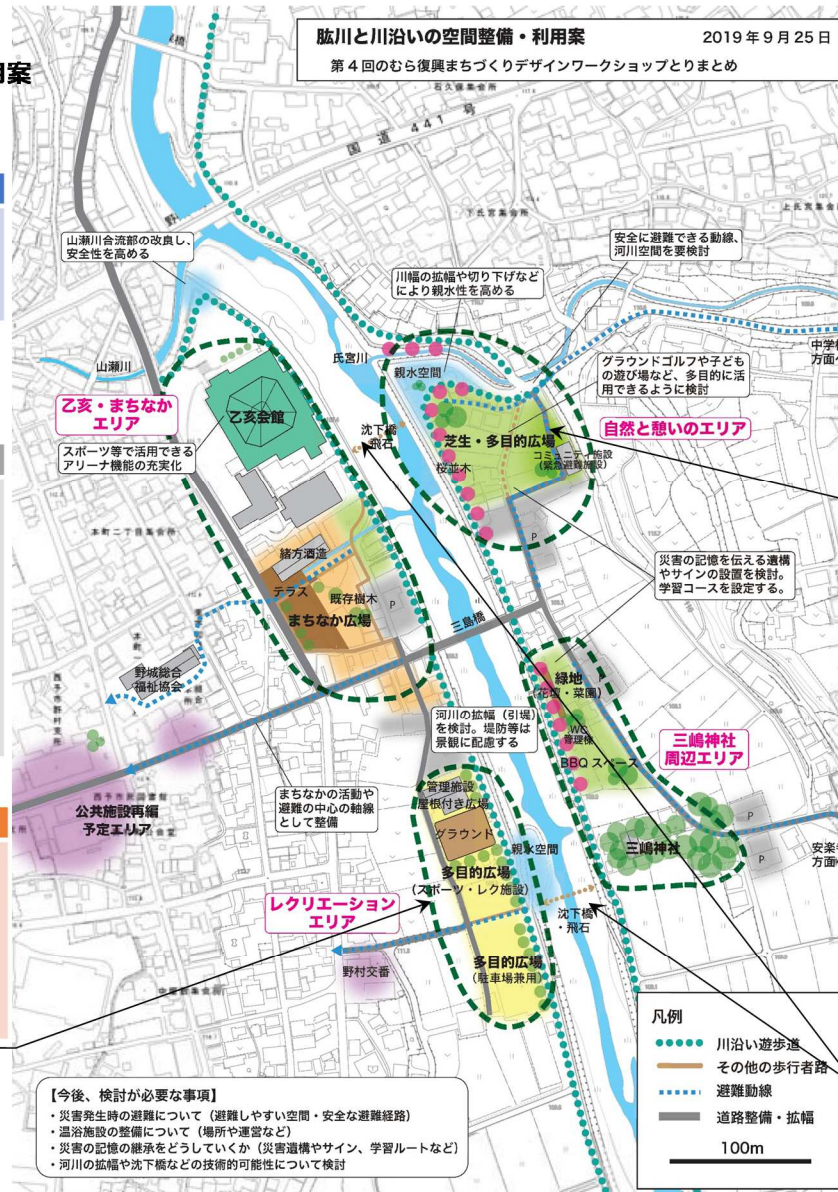
- ・遊べる川になって欲しい。（水質改善）
- ・川の整備（川幅等）が決まらないと、周辺の整備が決めきれないのでは？
- ・BBQエリアの川辺を下に降りられるようにし、川で遊べるようにしたい。

避難のあり方（全体）

- ・右岸の人は右岸に、左岸の人は左岸に避難できるような条件整備とルールづくり
- ・避難のための案内標識（避難路や避難場所）やスピーカーの整備が必要。
- ・計画地内にもわかりやすい案内板（地図）を設置する。
- ・地域住民だけでなく、外部からの利用者にもわかりやすい避難情報を放送する。→具体的な場所、増水の様子。
- ・学校における防災教育を進める。
- ・レクリエーションエリアなどを通じ、地域間のコミュニティを高め避難しやすくする。

レクリエーションエリア

- ・管理施設は垂直避難ができる高さにする。
- ・多目的広場は芝生を望む。→管理（他のエリアを含む）については、子どもたちに、遊び感覚で草引きをしてもらう仕組みなどを検討する。ゲームや競争など、魅力的なイベントにする。
- シルバー人材センター等への委託など、費用が抑えられるように。



【今後、検討が必要な事項】

- ・災害発生時の避難について（避難しやすい空間・安全な避難経路）
- ・温浴施設の整備について（場所や運営など）
- ・災害の記憶の継承をどうしていくか（災害遺構やサイン、学習ルートなど）
- ・河川の拡幅や沈下橋などの技術的可能性について検討

【4班】

自然と憩いのエリア

- ・グランドゴルフ、パークゴルフの利用者が草引きなどの管理をする仕組みをつくる。
- ・水質検査を積極的に行い、きれいな水であることを守る、PRもする。（水に親しみを持てるように）

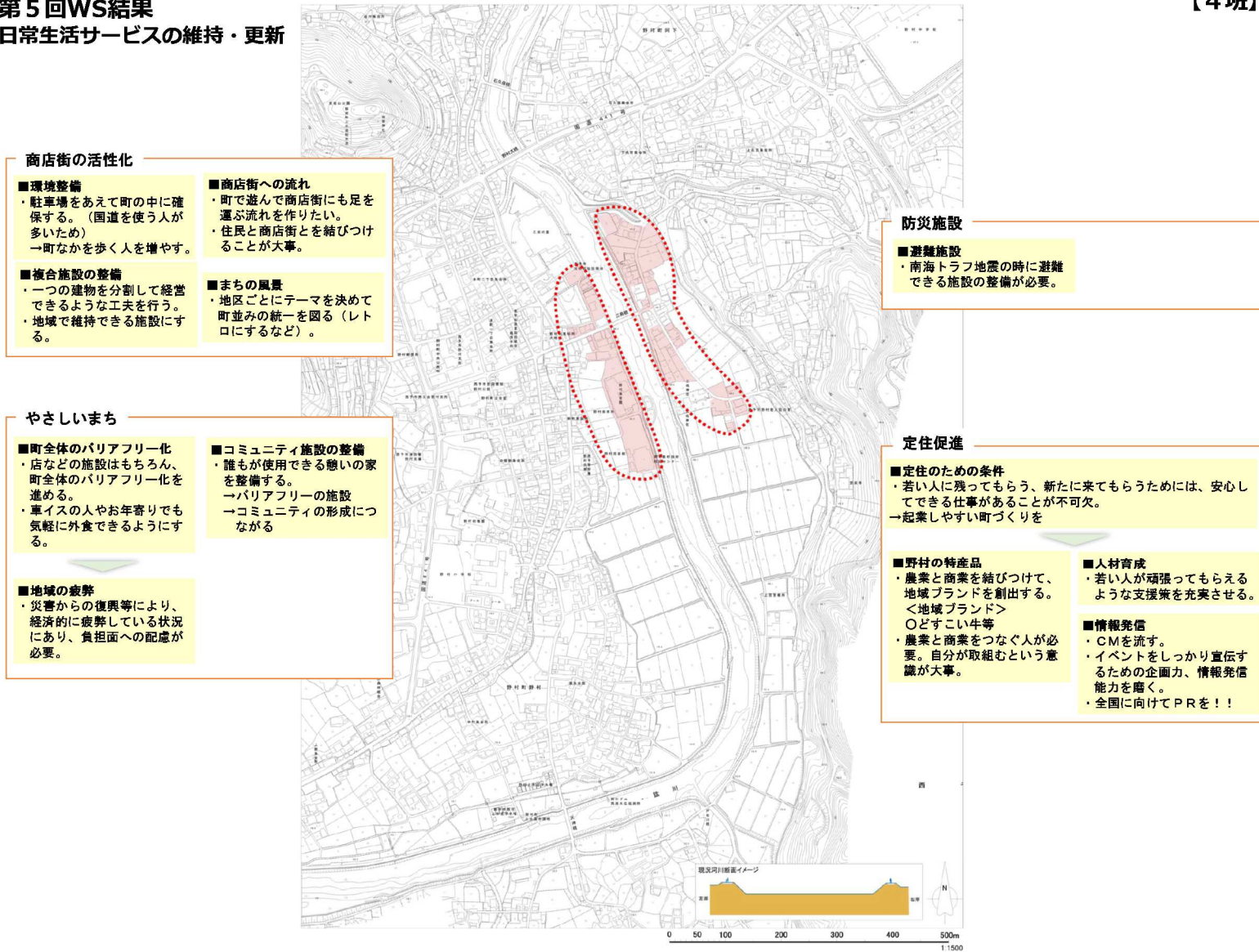
動線

- ・飛石や沈下橋は、通り慣れている人が少ない→他の方法がないか？
- ・どちらも沈下橋にする必要はないのではないか（その場合費用がかさむ恐れあり）
- ・災害時（雨天時）には、沈下橋を通行止めにする。（通行止めにする手段をどうするのか）
- ・子どもやお年寄り、飲んだ人が川に落ちる可能性もある、夜間にわたることが不安なため、安全な整備が必要

■第5回 日常生活サービスの維持・更新

【4班】

第5回WS結果 日常生活サービスの維持・更新



■第5回 肱川と川沿いの空間整備・利用案

第5回WS結果 肱川と川沿いの空間整備・利用案

河川整備（肱川）

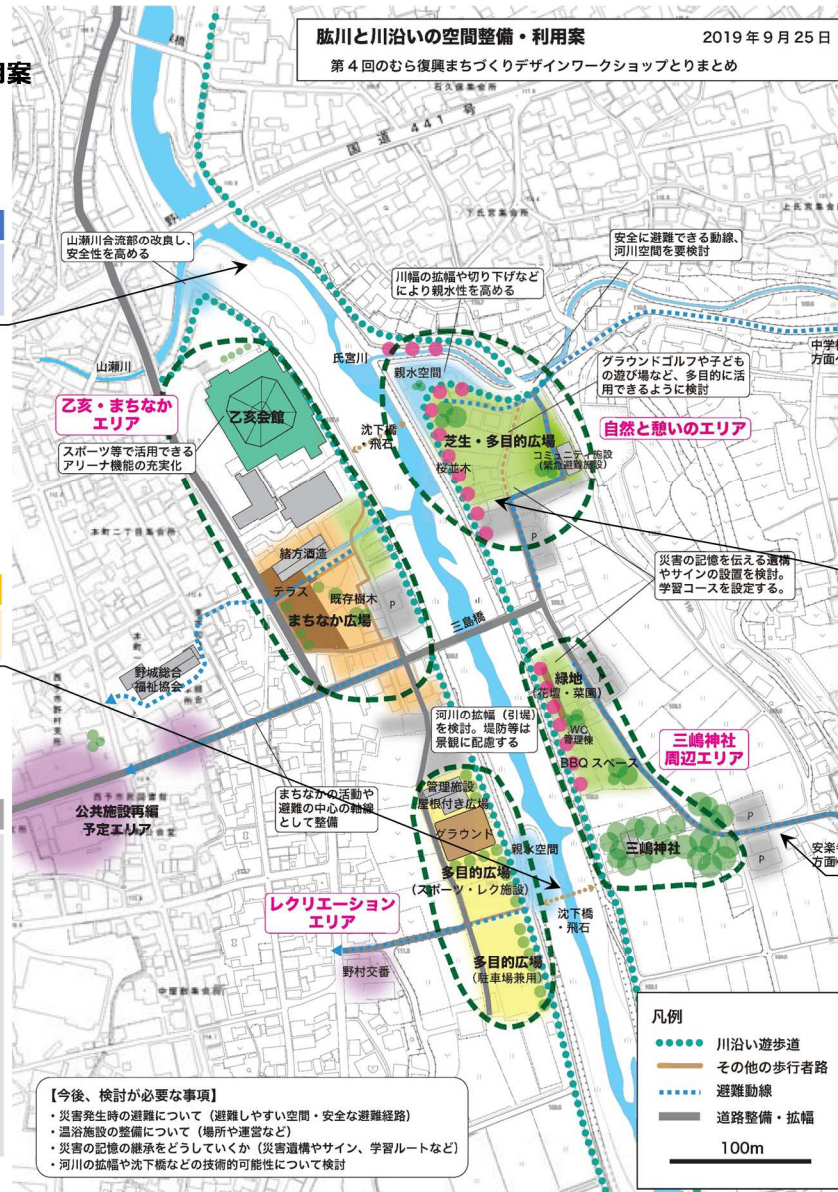
- 堤防ができたとき、ゲートを閉めて内水氾濫を起こした事例を聞いたことがある。内水対策を起こさないような工夫が必要。

動線

- 安全な橋を作る…アーチ橋にする、耐震性を担保する。

避難のあり方

- 平成30年7月豪雨災害にて2階への避難をした人が多かったが、これほどの大水になるとは思っていなかった。今後は、被害が起こるという意識を持って行動が必要。
- 地域で避難の際に援助が必要な人を把握しておく。
- 地域ごとに防災士を置く（資格取得を支援する）。
- 避難しやすくするために、各集会所に小さな風呂場を設けては。→集会所の方が、身近な施設で避難しやすい。
- 地域のコミュニティ形成や独居老人対策等にもつながる。



【5班】

自然と憩いのエリア

- ・モニュメント的な施設を整備する際は、平成30年7月豪雨の最大浸水深がわかるようにする。
- ・災害を風化させないためのモニュメント等を整備する。

避難のあり方（右岸）

- ・避難所への経路を確保する。

■第5回 日常生活サービスの維持・更新

【5班】

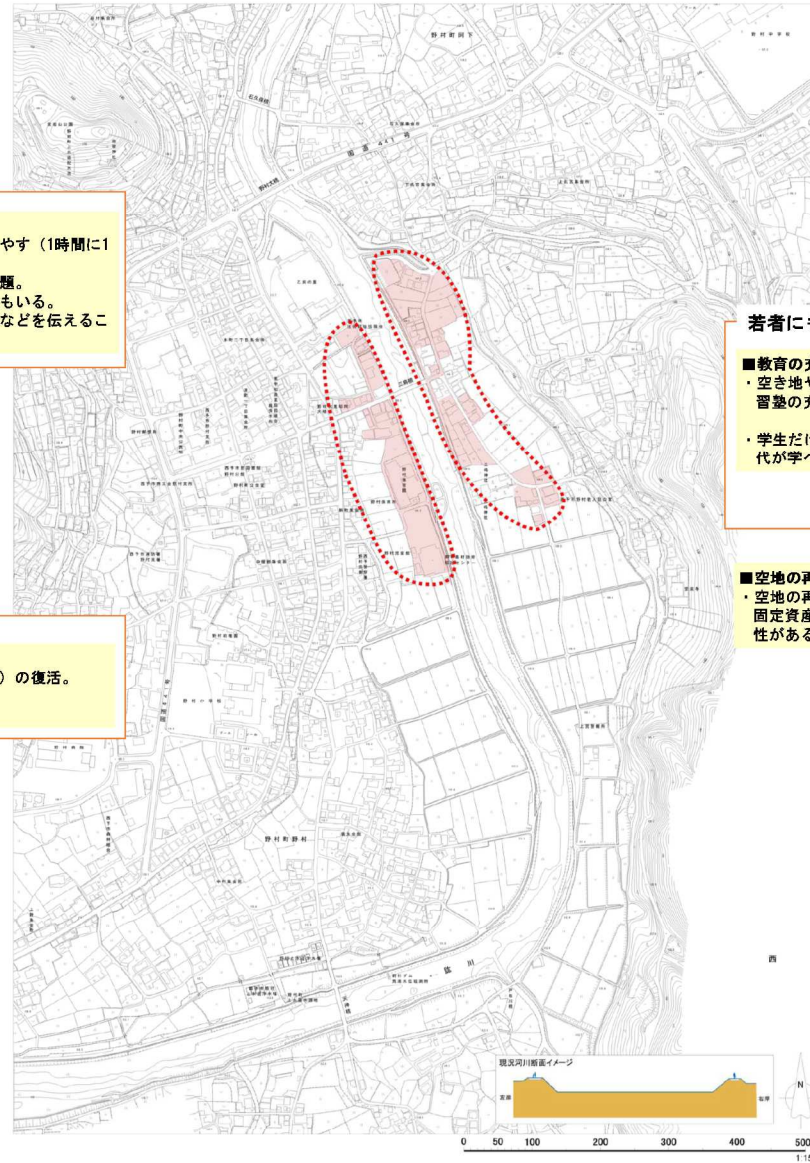
第5回WS結果 日常生活サービスの維持・更新

移動手段の確保・充実

- バスの維持
 - ・利用するための条件として、バスの本数を増やす（1時間に1本ぐらいは欲しい）。
 - 運行のための費用の増加との兼ね合いが問題。
- ・野村宇和間のバス料金がいくらわからない人もいる。
- 公共交通を利用することの料金やメリットなどを伝えることが必要。

買物支援

- 買物支援
 - ・大和田地区にあった「わいわい市」（産直市）の復活。
 - 買物に行けなかった人が利用していた。
- ・移動販売などのサービスを提供する。



若者にも魅力的な町

- 教育の充実
 - ・空き地や空家を利用して学習塾の充実を図る。
 - ↓
 - ・学生だけでなく、多様な年代が学べる地域塾とする。
- 飲食店の充実
 - ・街中に肉料理専門店や中華料理屋さんが欲しい。
 - 地域食堂の整備
 - ・高校生レストランと町民レストランが共同運営するなど、新たな魅力の創出。

■空地の再利用の障害

- ・空地の再利用することで、固定資産税が増加する可能性がある。